

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-6

< 第16週 >

インフルエンザの定点当たり報告数は増加した / その他最新動向



注目すべき感染症

< 今週は該当記事はありません >



病原体情報
P.7-9

インフルエンザウイルス 2012/13シーズン



速報

< 今週は該当記事はありません >



海外感染症情報
P.10-18

中国でインフルエンザA(H7N9)の患者が発生しました / 鳥インフルエンザA(H5N1)に感染した患者の発生状況について / インフルエンザ / 新種のコロナウイルス感染症について



感染症の話
P.19

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事は
ありません >



グラフ総覧(16週)
P.20-25



16週のデータ
P.26-39



発生動向総覧

< 第16週コメント > 4月24日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核354例

3類感染症

細菌性赤痢2例 菌種: *S. sonnei* (D群) 2例__感染地域: 国内(都道府県不明)1例、インド1例

腸管出血性大腸菌感染症15例(有症者9例、うちHUS なし)

感染地域: 国内15例

国内の感染地域: 佐賀県4例、宮崎県2例、北海道1例、茨城県1例、山梨県1例、愛知県1例、兵庫県1例、広島県1例、福岡県1例、不明2例

年齢群: 2歳(1例)、3歳(1例)、8歳(1例)、10代(3例)、20代(5例)、60代(3例)、70代(1例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(3例)、O157 VT2(3例)、O91 VT1(2例)、O1 VT2(1例)、O18 VT不明(1例)、O121 VT2(1例)、O145 VT2(1例)、O157 VT1(1例)、その他・不明(2例)

累積報告数: 208例(有症者140例、うちHUS 7例、死亡なし)

腸チフス2例

感染地域: インド1例、バングラデシュ1例

パラチフス3例

感染地域: インド2例、インドネシア1例

4類感染症

E型肝炎5例

感染地域: 宮城県1例__感染源: プタ肉(レバー)

感染地域: 茨城県1例__感染源: 不明

感染地域: 千葉県1例__感染源: 焼き鳥

感染地域: 東京都1例__感染源: 不明

感染地域: 国内(都道府県不明)1例__感染源: モツ/サザエ

A型肝炎2例

感染地域: 国内(都道府県不明)2例

Q熱1例

感染地域: 千葉県__感染源: 猫

重症熱性血小板減少症候群1例

感染地域: 山口県(2013年4月発症)

年齢群: 60代、死亡

つつが虫病2例

感染地域: 福島県2例

デング熱4例

感染地域: インドネシア3例、ブラジル1例

日本紅斑熱1例

感染地域: 宮崎県

レジオネラ症5例(肺炎型5例)

- 感染地域: 北海道1例、福井県1例、岐阜県1例、三重県1例、国内
(都道府県不明)1例
年齢群: 60代(2例)、70代(1例)、90代(2例)
- レプトスピラ症1例 感染地域: 鹿児島県__感染源: 不明
- 5類感染症**
- アメーバ赤痢10例(腸管アメーバ症9例、腸管外アメーバ症1例)
感染地域: 東京都2例、大阪府2例、宮城県1例、岐阜県1例、福岡
県/東南アジア1例、タイ2例、エジプト1例
感染経路: 経口感染3例、性的接触3例(異性間2例、異性間・同
性間不明1例)、不明4例
- ウイルス性肝炎2例 B型2例__感染経路: 性的接触2例(異性間1例、同性間1例)
- 急性脳炎2例 病原体不明2例__年齢群: 0歳(1例)、50代(1例)
- クロイツフェルト・ヤコブ病2例
孤発性プリオン病古典型2例
- 後天性免疫不全症候群25例(AIDS 4例、無症候19例、その他2例)
感染地域: 国内23例、タイ2例
感染経路: 性的接触23例(異性間6例、同性間16例、異性/同性間
1例)、不明2例
- ジアルジア症2例 感染地域: 埼玉県1例、岐阜県1例
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症1例(肺炎__菌検出検体: 血液)
年齢群: 70代
- 侵襲性肺炎球菌感染症18例〔うち、肺炎8例、髄膜炎1例(重複なし)__菌検出検体: 血液
17例、血液・髄液1例)
年齢群: 0歳(1例)、1歳(4例)、2歳(1例)、30代(1例)、40代
(1例)、50代(2例)、60代(3例)、70歳(2例)、80代(3例)
- 先天性風しん症候群2例
感染地域: 神奈川県1例、愛知県1例
- 梅毒10例(早期顕症I期3例、早期顕症II期1例、先天梅毒1例、無症候5例)
- 破傷風2例 年齢群: 15 ~ 19歳(2例)
- 風しん534例(検査診断例362例、臨床診断例172例)
感染地域: 東京都106例、大阪府94例、兵庫県47例、神奈川県46
例、千葉県29例、埼玉県14例、鹿児島県12例、愛知県
8例、福岡県8例、宮城県5例、茨城県4例、長野県4例、
滋賀県4例、和歌山県4例、島根県4例、富山県3例、三
重県3例、熊本県3例、群馬県2例、静岡県2例、京都府
2例、広島県2例、香川県2例、北海道1例、栃木県1例、
新潟県1例、石川県1例、山梨県1例、岐阜県1例、奈良
県1例、徳島県1例、宮崎県1例、国内(都道府県不明)
114例、国内・国外不明3例
年齢群: 0歳(6例)、1歳(12例)、2歳(2例)、3歳(2例)、4歳(2例)、
5 ~ 9歳(6例)、10 ~ 14歳(16例)、15 ~ 19歳(34例)、20 ~
24歳(74例)、25 ~ 29歳(62例)、30 ~ 34歳(77例)、35 ~
39歳(90例)、40代(98例)、50代(41例)、60代(11例)、
70代(1例)
累積報告数: 4,763例(検査診断例3,465例、臨床診断例1,298例)

麻しん8例〔麻しん(検査診断例4例、臨床診断例3例)、修飾麻しん1例〕

感染地域：埼玉県3例、東京都2例、栃木県1例、千葉県1例、神奈川県1例

年齢群：1歳(1例)、10 ~ 14歳(1例)、25 ~ 29歳(1例)、30 ~ 34歳(1例)、35 ~ 39歳(2例)、40代(2例)

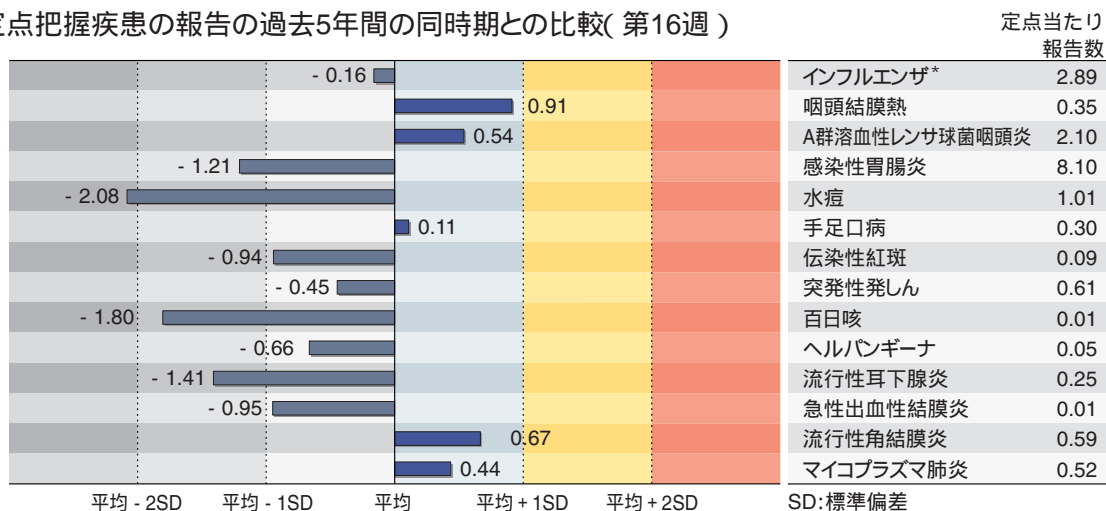
累積報告数：107例〔麻しん(検査診断例39例、臨床診断例42例)、修飾麻しん26例〕

(補) 2012年第16週から2013年第15週までに診断されたものの報告遅れとして、細菌性赤痢1例〔菌種：*S. flexner*(B群)、感染地域：東京都〕、E型肝炎1例〔感染地域：国内(都道府県不明)、感染源：不明〕、エキノコックス症1例(多包条虫、感染地域：北海道)、重症熱性血小板減少症候群1例〔感染地域：高知県(2012年発症)〕、つつが虫病1例〔感染地域：茨城県〕、急性脳炎7例〔ムンプスウイルス1例、年齢群：5 ~ 9歳、ヘルペスウイルス1例、年齢群：80代、ロタウイルス1例、年齢群：1歳、水痘帯状疱疹ウイルス1例、年齢群：1歳、風しんウイルス1例、年齢群：25 ~ 29歳、病原体不明2例、年齢群：10 ~ 14歳(1例)、40代(1例)〕、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(20 ~ 24歳)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第16週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(* 2009年のパンデミックの影響を受けています。)

インフルエンザ

定点当たり報告数は増加した。都道府県別では宮崎県(7.64)、石川県(7.58)、山口県(7.13)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は549例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約83%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では宮崎県(1.25)、佐賀県(0.83)、山形県(0.77)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では石川県(5.10)、富山県(4.24)、新潟県(4.00)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では大分県(17.22)、島根県(14.00)、新潟県(13.67)が多い。

水痘の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では熊本県(2.36)、愛媛県(2.30)、山口県(2.06)、宮崎県(2.06)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別では沖縄県(4.65)、島根県(3.61)、福岡県(2.17)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別では富山県(1.00)、新潟県(0.47)、岩手県(0.38)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では高知県(0.10)、沖縄県(0.06)、鳥取県(0.05)が多い。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では佐賀県(0.65)、長崎県(0.45)、沖縄県(0.24)が多い。

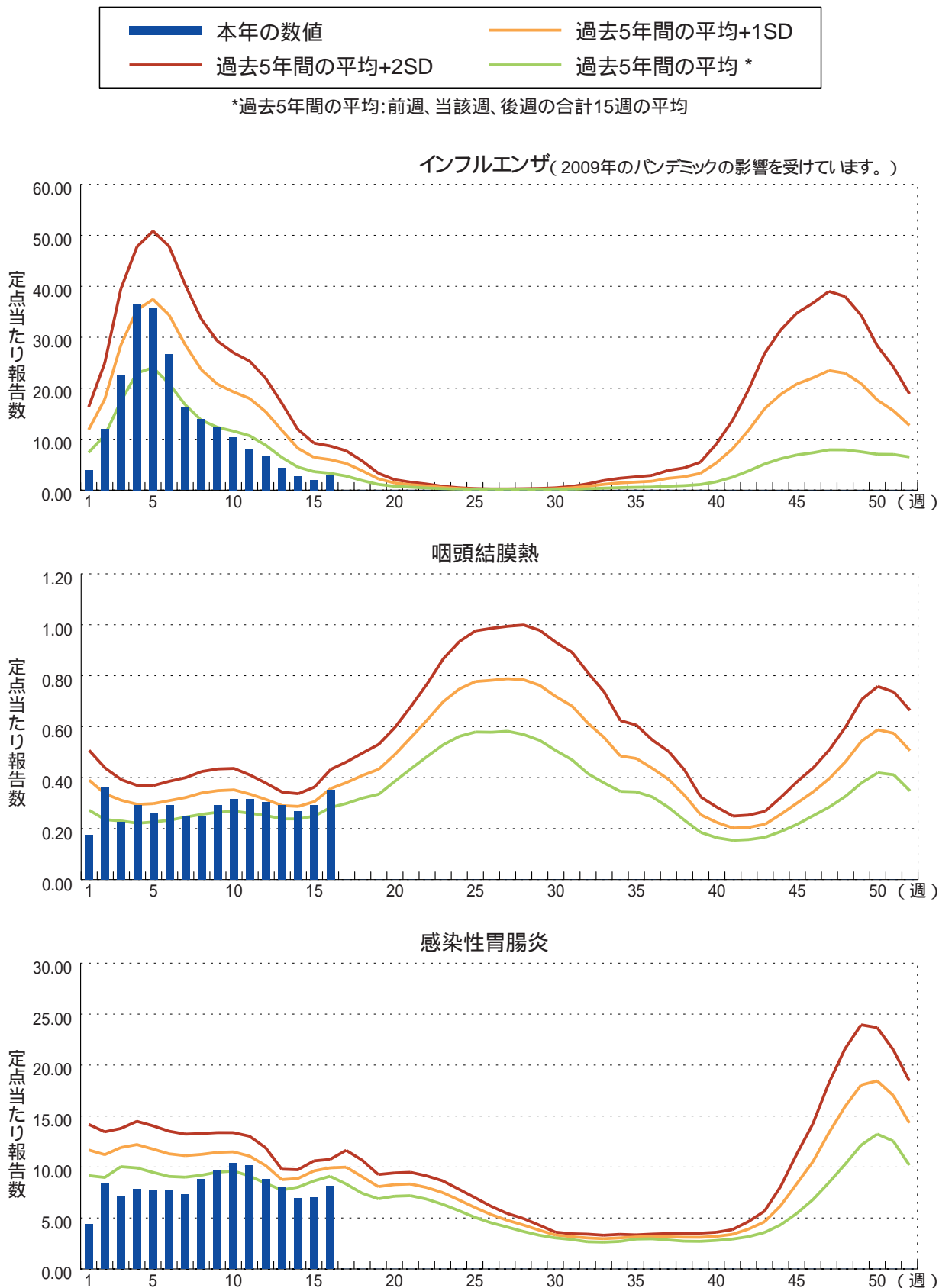
流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では秋田県(1.20)、福井県(1.05)、岩手県(1.00)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では石川県(2.40)、福島県(2.00)、沖縄県(1.86)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2013年第16週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>)からの引用です。

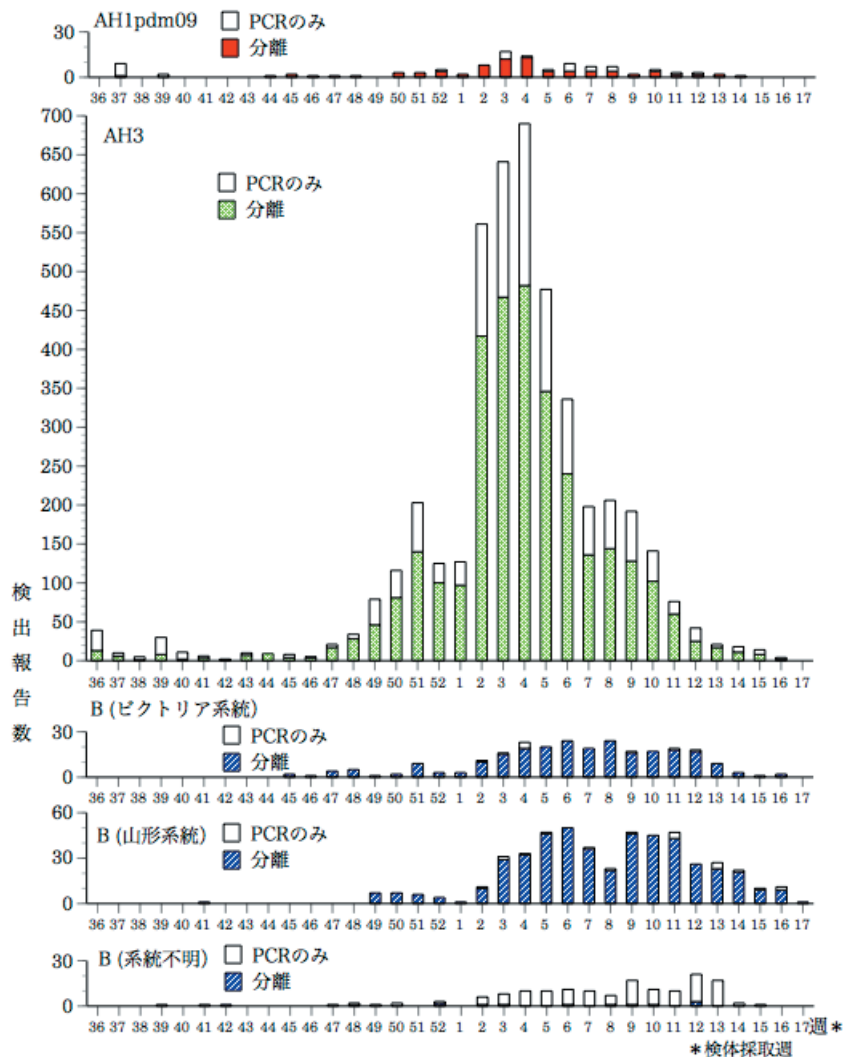
国立感染症研究所・感染症疫学センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2013年4月30日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2012/13シーズン

2012/13シーズン(2012年第36週/9月～2013年第35週/8月)は当初よりAH3亜型が主に検出され、2012年第47週以降増加し始め、2013年第4週をピークに以降減少している。B型は2013年第2週から増加し始め、第12週以降はB型の報告数がAH3亜型を上回っている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2012年第36週～2013年第17週
(病原微生物検出情報：2013年4月30日現在報告数)



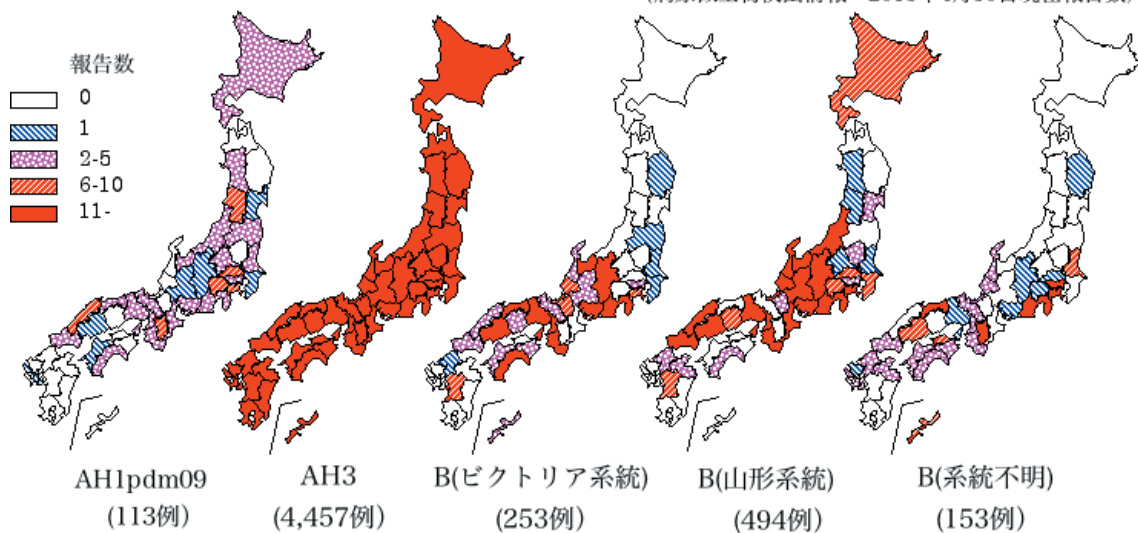
(データは現在週および過去の週に遡って追加が見込まれる)
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

2012年第36週～2013年第17週の累積では、AH1pdm09が31都道府県から113件、AH3亜型が全都道府県から4,457件、B型はビクトリア系統株が29都道府県から253件、山形系統株が33都道府県から494件、系統不明株が28都道府県から153件報告されている。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2012年第36週～2013年第17週
(病原微生物検出情報：2013年4月30日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



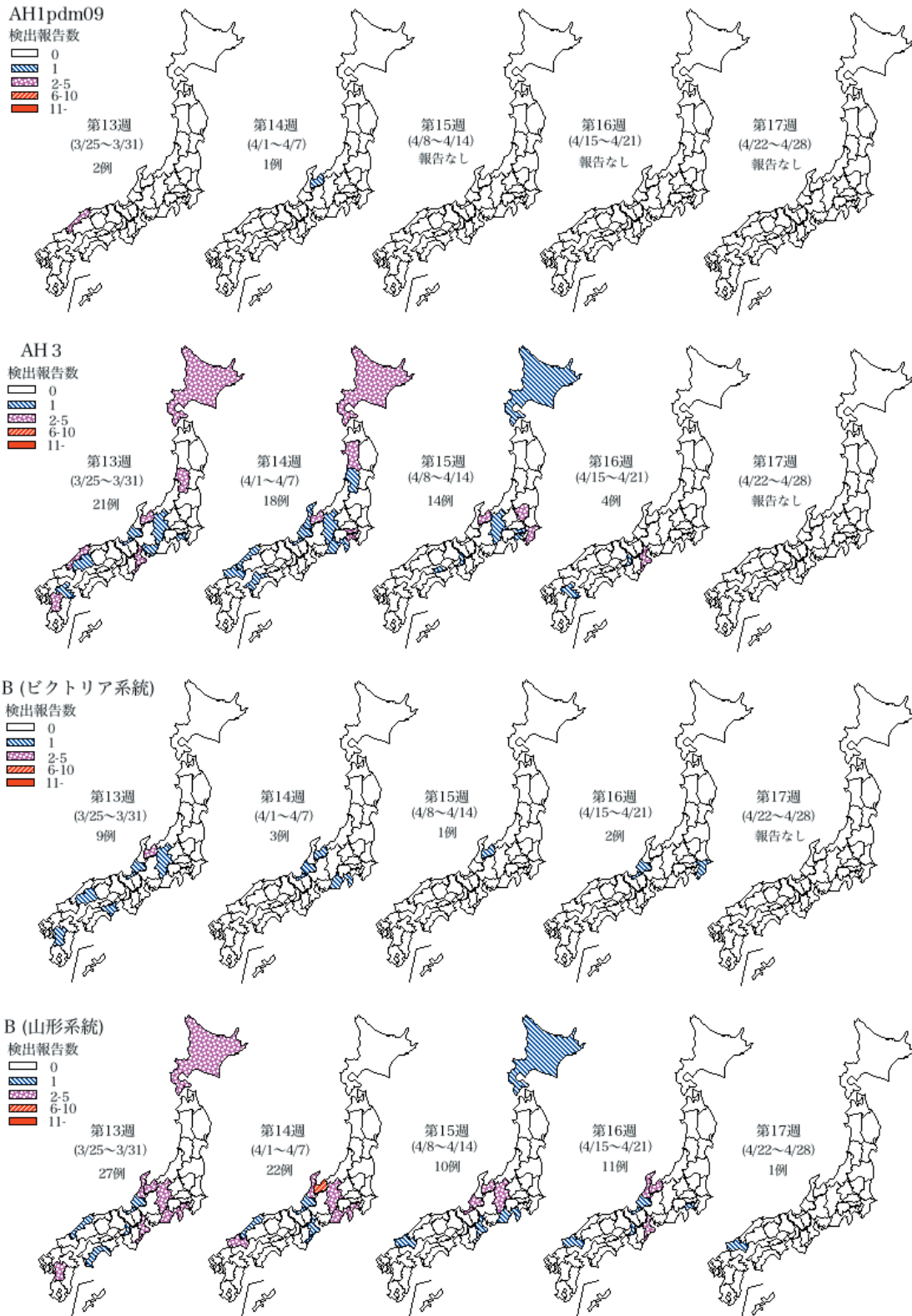
2013年第13～17週の5週間では、AH1pdm09が2県から3件(島根県2件、富山県1件)、AH3亜型が22都道府県から57件(富山県7件、三重県6件、北海道5件、山形県、神奈川県各4件など)、B型はビクトリア系統株が8県から15件(富山県6件、福井県3件、千葉県、長野県、静岡県、広島県、徳島県、熊本県各1件)、山形系統株が13道府県から71件(富山県14件、長野県11件、三重県8件、神奈川県、石川県、山口県各6件、福井県、静岡県各5件、北海道3件など)、系統不明株が9都道府県から20件報告されている。

このうち、輸入例からの分離・検出が3件(AH3亜型3件)報告されている。

インフルエンザウイルス分離・検出速報は <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html> を参照ください。

週別都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2013年第13週～第17週

(病原微生物検出情報：2013年4月30日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を検体採取週別に図に示した



海外感染症情報

*関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

中国でインフルエンザA(H7N9)の患者が発生しました(更新20)

2013年4月23日 WHO(GAR)

4月23日付で公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、中国の国家衛生・計画出産委員会は同日、インフルエンザA(H7N9)に感染した患者が新たに4人発生したとWHOに報告しました。

4人の患者は、浙江省で4月15日に発症した84歳の男性と、同じく4月15日に発症した62歳の男性、安徽省で4月14日に発症した91歳の男性と、山東省で4月16日に発症した36歳の男性です。

また、以前に浙江省で報告された患者1人が死亡しました。

これまでに、中国でインフルエンザA(H7N9)に感染したと確定された患者は108人で、このうち22人が死亡しました。確定患者の濃厚接触者は経過観察されています。

中国当局は、この疾患の予防と感染拡大防止対策を続けています。

感染源やウイルスの保有宿主についての調査が進められています。感染源が確認されるまでは、今後も中国でこのウイルスに感染した患者が発生すると予想されます。現時点では、人から人に感染が続いているという根拠はありません。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

WHOは、国家衛生・計画出産委員会の招聘で、この疾患の予防と感染拡大を防止するために、中国でインフルエンザA(H7N9)の患者が発生している地域を調査する専門家チームを招集しました。

中国でインフルエンザA(H7N9)の患者が発生しました(更新21)

2013年4月25日 WHO(GAR)

4月25日付で公表された台湾の衛生署疾病管制局(台湾CDC)の情報によりますと、鳥インフルエンザA(H7N9)に感染した患者が初めて1人発生したと報告されました。

患者は、53歳の男性で3月28日から4月9日まで江蘇省で仕事をしていました。4月9日に上海経由で江蘇省から帰国し、4月12日に発症しました。この患者は、4月24日にウイルスへの感染が確定されました。

これまでに、鳥インフルエンザA(H7N9)に感染したと確定された患者は109人で、このうち22人が死亡しました。確定患者の濃厚接触者は経過観察されています。

感染の影響を受けた地域の当局は、この疾患の予防と感染拡大防止対策を続けています。

感染源やウイルスの保有宿主についての調査が進められています。感染源が確認されるまでは、今後もこのウイルスに感染した患者が発生すると予想されます。現時点では、人から人に感染が続いているという根拠はありません。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

各国と中国の専門家チームは、上海市と北京市を訪問して鳥インフルエンザA(H7N9)の状況を評価し、国家衛生・計画出産委員会へ提言を行う使命を終えました。

中国でインフルエンザA(H7N9)の患者が発生しました(更新22)

2013年4月29日 WHO(GAR)

4月29日付で公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、中国の国家衛生・計画出産委員会は同日、鳥インフルエンザA(H7N9)に感染した患者が新たに17人発生したとWHOに報告しました。

患者は以下の通りです。

- ・ 4月18日に発症した浙江省の38歳の男性
- ・ 4月17日に発症した福建省の80歳の男性
- ・ 4月21日に発症した江西省の80歳の男性
- ・ 4月23日に発症した江西省の31歳の女性
- ・ 4月27日に発症した山東省の4歳の男児
- ・ 4月15日に発症した湖南省の54歳の男性
- ・ 4月14日に発症した湖南省の64歳の女性
- ・ 4月17日に発症した浙江省の38歳の男性
- ・ 4月17日に発症した江蘇省の49歳の男性
- ・ 4月19日に発症した江蘇省の36歳の男性
- ・ 3月8日に発症した江蘇省の60歳の男性
- ・ 4月18日に発症した福建省の65歳の男性
- ・ 4月17日に発症した江西省の69歳の男性
- ・ 4月19日に発症した江西省の76歳の女性
- ・ 4月17日に発症した浙江省の60歳の女性
- ・ 4月18日に発症した浙江省の50歳の女性
- ・ 4月17日に発症した河南省の56歳の男性

また、以前に江蘇省で報告された患者2人が死亡しました。

これまでに、鳥インフルエンザA(H7N9)に感染したと確定された患者は126人で、このうち24人が死亡したとWHOに報告されました。確定患者の濃厚接触者は経過観察されています。

患者が発生した地域の当局は、この疾患の予防と感染拡大防止対策を続けています。

感染源やウイルスの保有宿主についての調査が進められています。感染源が確認されるまでは、今後もこのウイルスに感染した患者が発生すると予想されます。

現時点では、人から人に感染が続いているという根拠はありません。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

鳥インフルエンザA(H5N1)に感染した患者の発生状況について

2013年4月26日 WHO(GAR)

2003年から2013年4月26日までに、鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスに感染したと確定診断された患者は、15か国から628人が世界保健機関(WHO)へ公式に報告されています。このうち374人が死亡しています。

3月12日以降、新たに6人の確定患者が報告されました。バングラデシュで1人、カンボジアで1人、エジプトで2人、ベトナムで2人が報告されました。患者調査の結果、患者は散発的に発生し、今後も散発的に発生すると予想されています。

カンボジアでは、今年、鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスに感染した患者は10人と報告され、そのうち8人が死亡しました。患者はカンボジア南部の5州で発生しました。これらの患者に疫学的な関連はないようです。また、ほとんどの患者が村で病気になった家きんとの接触がありました。患者から分離されたウイルスはクレード1.1ウイルスで、この地域の家きんから分離されたウイルスにとってもよく似ていました。患者の周囲の調査が行われていますが、新たな患者は発見されていません。このことは、人から人への感染よりも、感染した家きんからの暴露や汚染された環境からの散発的な感染であることを示しています。カンボジアでは、家きんの中でA(H5N1)ウイルスが常在しており、今後も散発的な患者が発生することが予想されます。

家きんの中でインフルエンザウイルスが循環している時は、特に家屋で飼育している家きんが感染し、その家きんに暴露する人々の中で散発例や小規模の集団発生が起こる可能性があります。しかし現在のところ、このH5N1ウイルスは人の間で効率よく感染せず、このウイルスが地域レベルで拡大するレベルは依然として低いです。このウイルスに関する公衆衛生上のリスクに変化はありません。

インフルエンザ - 更新184

2013年4月26日 WHO(GAR)

【要約】

- ・北半球の温帯地域におけるインフルエンザの活動性は、北米、ヨーロッパ、北アジアのほとんどの地域でシーズンオフに近い水準まで減少し続けています。しかし、多くの国では、依然として、低い水準の伝播が続いていると報告されました。
- ・北半球の温帯地域における伝播の持続は、北米とヨーロッパの数か国で、シーズンの終わりに出現したインフルエンザB型ウイルスの増加に関連しています。それまでは、北米ではインフルエンザA(H3N2)、ヨーロッパではインフルエンザA(H1N1)pdm09が優勢でした。北アジアでは、インフルエンザA(H3N2)とインフルエンザA(H1N1)pdm09が検出され、その割合は国によって異なりました。
- ・熱帯地域のインフルエンザの活動性は低い水準であり、南半球のインフルエンザの活動性は、依然としてシーズンオフの水準です。
- ・今シーズンに解析されたインフルエンザA型は、ほぼすべてが今シーズンに北半球で使用されている3価ワクチンに含まれている株に抗原的に類似していました。解析されたインフルエンザB型のうち、山形系統は3価ワクチンに推奨されたウイルス株に抗原的に類似しましたが、かなり多くのB型ウイルスがビクトリア系統でした。オセルタミビルとザナミビルに耐性を示すウイルスは、非常に少数ですが検出されました。
- ・中国では、これまでに、インフルエンザA(H7N9)に感染した患者が100人以上報告されました。詳細はWHOのホームページに掲載されています。
- ・北半球のインフルエンザシーズンのまとめは、5月31日付のWHOの疫学週報(World Epidemiological Report)に掲載される予定です。

【北半球の温帯地域】

- ・北米
北米のインフルエンザの活動性は、比較的低い水準となりました。カナダと米国では1月上旬

にピークに達し、メキシコは両国より2週間遅れてピークに達しました。

カナダでは、集団発生の件数と州に報告される著しい呼吸器疾患の活動性は低い水準となりましたが、シーズンオフの水準にまでは至っていません。国全体でのインフルエンザ様疾患(ILI)の受診率は、4月第2週は患者1,000人当たり23.8でしたが、直近の報告週は16.4に減少しました。インフルエンザウイルスが陽性となった割合は、1月第1週に35%とピーク達し、最近数週間は比較的变化がなく、12%と若干増加しました。

4月第2週に、予防接種監視活動(IMPACT)ネットワークによって、インフルエンザと確定された小児の入院患者は新たに12人が報告され、すべてインフルエンザB型に関連していました。同じ週に、インフルエンザ研究ネットワーク PHAC/CIHR Influenza Research Network)の重篤な転帰に至った事例のサーベイランスネットワークによって、インフルエンザと確定された成人の入院患者は13人が報告されました。このうち4人がインフルエンザA型で、6人がインフルエンザB型でした。

呼吸器検体の検査で、陽性の割合が比較的高い状態が続いているのは、最近の数週間でインフルエンザB型の検出数が増加していることと関連しています。インフルエンザB型が検出される割合は、1月第3週には2.1%でしたが、4月第2週には81.1%(444検体中360検体)に増加しました。今シーズンは、インフルエンザA(H3N2)が最も多く検出されており、昨年10月以降に亜型解析されたインフルエンザA型のうち89%を占めています。

シーズン当初から、国立微生物学研究所で1,016株のインフルエンザウイルスの抗原解析が行われ、162株がインフルエンザA(H1N1)pdm09で、553株がインフルエンザA(H3N2)で、301株がインフルエンザB型でした。インフルエンザA型は、すべて、今シーズンに北半球で使用されているワクチン株に抗原的に類似しており、インフルエンザB型ウイルスのうち、248株は、今シーズンに北半球で使用されているワクチン株であるB/Wisconsin/01/2010(山形系統)に抗原的に類似していましたが、53株はB/Brisbane/60/2008(ビクトリア系統)に類似していました。今シーズンは、検査した942株の中で、オセルタミビルまたはザナミビルに対する耐性を示したウイルスはありませんでした。

米国では、インフルエンザの活動性は12月下旬から1月上旬にかけてピークに達した後、4月16日までの報告週は減少し続けており、季節性の閾値を下回っています。国全体では、ILIの外来受診率は、国の閾値である2.2%を下回り、1.3%でした。ILI患者の検体でインフルエンザが陽性であった割合は、昨年最終週に38%とピークに達した後、4月16日までの報告週は9.3%(3,802検体中354検体)と減少しました。

122都市の死亡報告システムを通して報告された肺炎とインフルエンザによる全死亡の割合は、1月第4週に9.8%とピークに達した後は7.2%まで減少し流行閾値の7.5%を下回りました。シーズン当初からの肺炎とインフルエンザによる全死亡者数は、最近のシーズンに比べ、比較的高いです。今シーズンは、4月16日までに、インフルエンザに関連した小児の死亡は126人と報告されました。インフルエンザに関連した小児の死亡は、2011年から2012年のシーズン中に34人、2010年から2011年のシーズン中に122人が報告されました。4月第2週に報告された小児の死亡者10人はインフルエンザB型によるものでした。検査で確定診断されたインフルエンザに関連した入院患者は人口10万人当たり43.7であり、過去3シーズンに比べて高くなっていますが、特に65歳を超える年齢層で増加しました。

カナダと同様に、4月16日までの報告週で、インフルエンザが陽性となった検体のうち、73.7%がインフルエンザB型でした。しかし、米国では、シーズン当初から検出されたインフルエンザの72%がインフルエンザA型であり、亜型が判明しているA型のうち96%がインフルエンザA(H3N2)

でした。

シーズン当初から、疾病予防管理センター(CDC)は2,144株のインフルエンザウイルスの抗原解析を行いました。このうち209株がインフルエンザA(H1N1)pdm09、1,200株がインフルエンザA(H3N2)、735株がインフルエンザB型でした。インフルエンザA型は、すべて、今シーズンに北半球で使用されているワクチン株に抗原的に類似していましたが、インフルエンザA(H3N2)のうち0.3%(1,200株中4株)はA/Victoria/361/2011に対して産生される抗血清の力価が低下しており、インフルエンザA(H1N1)pdm09のうち1.4%(209株中3株)はA/California/7/2009に対して産生される抗血清の力価が低下していました。解析されたインフルエンザB型のうち、32.8%(735株中241株)は、今シーズンに使用されている3価ワクチンに含まれていないB/Victoria/02/87-likeの系統でした。シーズン当初から、インフルエンザA(H1N1)pdm09は483株が検査され、オセルタミビル耐性株が2株報告されました。インフルエンザA(H3N2)は1,821株が検査され、オセルタミビル耐性株が2株報告されました。インフルエンザB型は783株が検査され、耐性株は検出されませんでした。

メキシコのインフルエンザの活動性は、低い水準となり、検出されたウイルスの多くはインフルエンザA(H3N2)でした。メキシコのインフルエンザの活動性は、1月下旬にピークに達した米国より約2週間遅れてピークに達したようです。

・ヨーロッパ

4月最終週におけるヨーロッパのインフルエンザの活動性は、ほとんどの地域で低下し続けており、ほとんどの国で減少し、伝播も低い水準で、シーズンオフの水準に近づいています。東部の数か国、特にロシア、スロベニア、ウクライナでは、減少したものの、活動性は持続しており、ヨーロッパの北部や西部の国に数週間遅れているようです。

ILIや急性呼吸器感染症(ARI)の受診率は、ほとんどの国で季節性の閾値を下回ったか、シーズン前の水準であり、ヨーロッパのほとんどの国でインフルエンザシーズンが終わったようです。定点機関で採取されたILIやARI患者の検体のうちインフルエンザが陽性になった検体の割合は2月下旬以降減少しています。4月第2週に、ヨーロッパ死亡率監視プロジェクトへデータを報告した12の国・地域の総死亡率は、65歳以上の年齢層で、昨シーズンに比べて若干高く、過去3年に比べて高い水準でした。若年層の総死亡率は例年同様でした。

ヨーロッパ全体で、シーズン当初からインフルエンザA(H1N1)pdm09が最も多く検出されています。アイルランドやスペインなど数か国では、インフルエンザB型が多く検出されたと報告されています。しかし、過去数週間では、北米と同様に、ヨーロッパ全域でインフルエンザB型が占める割合が増加し、多くの国で、高頻度に検出されるようになっていきます。

シーズン当初から、2,751株のインフルエンザA型ウイルスの抗原解析が行われました。インフルエンザA(H1N1)pdm09は、すべて、WHOが今シーズンに北半球で推奨しているインフルエンザワクチンに含まれるA/California/7/2009に抗原的に類似していましたが、また、インフルエンザA(H3N2)も99%以上(1,366株中1,365株)は、WHOが今シーズンに北半球で推奨しているインフルエンザワクチンに含まれるA/Victoria/361/2011に抗原的に類似していましたが、インフルエンザB型ウイルスは1,936株の抗原解析が行われ、86%(1,936株中1,661株)が今シーズンに推奨されるワクチンに含まれるB/Yamagata/16/88の系統であり、14%(1,936株中275株)はB/Victoria/02/87の系統でした。シーズン当初から、ノイラミニダーゼ阻害薬であるオセルタミビルとザナミビルの感受性検査が12か国で1,259株について行われました。インフルエンザA(H1N1)pdm09は、623株のうち13株がH275Yのアミノ酸変異を有するオセルタミビル耐性株でした。インフルエンザ

A(H3N2)は、すべて、オセルタミビルとザナミビルの両者に感受性がありました。359株のインフルエンザB型のうち1株はオセルタミビルによる阻害効果が減少していました。

・ アフリカ北部と中東

アフリカ北部では、インフルエンザ陽性検体数は、2月下旬にピークに達した後、過去数週間にわたって減少しました。全体的には、検出されるインフルエンザウイルスのタイミングやパターンは、ヨーロッパと同様ですが、エジプトは例外で、ピークが早期に到来し、検出されたウイルスは、ほとんどがインフルエンザA(H3N2)でした。エジプト以外の国では、インフルエンザA(H1N1) pdm09が優勢でしたが、アルジェリアのように、過去数週間でインフルエンザB型が検出される割合が増加したと報告された国もありました。

中東では、インフルエンザ陽性検体数は、過去数週間にわたって減少しました。しかし、パレチン、ヨルダン、オマーンなどでは、低い水準で伝播が続いています。この地域のほとんどの国では、シーズン全体を通して、主にインフルエンザA(H1N1) pdm09が検出されていますが、オマーンとパキスタンでは、特にこの数週間、インフルエンザB型が主に検出されたと報告されています。

・ 北アジアと東アジア

アジアの温帯地域では、ほとんどの地域で、インフルエンザの活動性は1月末にピークに達した後、過去数週間にわたって減少しました。しかし、中国と韓国のインフルエンザの活動性は、依然として注目に値する高い水準です。この2か国は、この地域の他の国より数週間遅れてピークに達しました。中国北部と日本では、インフルエンザの活動性と、ILI患者の検体のうちインフルエンザが陽性となった検体の割合は、1月下旬にピークに達した後、過去数週間にわたって減少しました。一方、モンゴルでは、インフルエンザウイルスの検出数の増加との関連はありませんが、肺炎による入院患者数が増加したと報告されました。

前回の報告に示された通り、北アジアでのほとんどの国では、今シーズンはインフルエンザA(H3N2)が最も多く検出されています。しかし、多くの国で、インフルエンザ陽性検体中に占めるインフルエンザA(H1N1) pdm09の割合が多少増加しました。また、中国北部では、シーズン後半はインフルエンザA(H1N1) pdm09が最も多く検出されました。

シーズン当初から中国国家インフルエンザセンターで亜型が解析されたインフルエンザウイルスのうち、インフルエンザA(H1N1) pdm09の99.1%(248株中226株)はA/California/7/2009-likeに類似しており、インフルエンザA(H3N2)はすべて(577株)A/Victoria/361/2011(H3N2)-likeに類似していました。また、インフルエンザB型では、山形系統はすべて(25株)B/Wisconsin/01/2010-likeに類似しており、ビクトリア系統の96.7%(152株中147株)はB/Brisbane/60/2008-likeに類似していました。昨年10月以降に検査されたインフルエンザウイルスはすべて、ノイラミニダーゼ阻害薬に感受性がありました。

中国では、インフルエンザA(H7N9)に感染した患者が報告されており、現在、患者数は100人を超えました。詳細な情報と更新情報はWHOのホームページに掲載されています。

【熱帯地域】

・ アメリカ大陸(中米、カリブ海諸国)の熱帯地域

中米とカリブ海諸国では、低い水準で、インフルエンザA(H3N2)とインフルエンザA(H1N1) pdm09の伝播が続いており、インフルエンザA(H1N1) pdm09の割合が徐々に増加しています。し

かし、ILIと急性呼吸器疾患の患者のほとんどがインフルエンザ以外のウイルスに関連していると報告されており、原因としてRSウイルスが最も多く報告されています。コスタリカ、キューバ、グアテマラ、ニカラグアでは、インフルエンザの伝播は注目に値する高い水準です。

南米の熱帯地域では、インフルエンザの活動性は低いまです。ブラジルとエクアドルでは、過去数週間で、インフルエンザの活動性が徐々に増加し、3種類のインフルエンザウイルスが同時に伝播しています。ブラジルではインフルエンザA(H1N1)pdm09が最も多く検出されており、エクアドルではインフルエンザA(H3N2)が最も多く検出されています。

・ 中部アフリカ

中部アフリカの数か国で、過去数週間にわたって、インフルエンザの検出数は低いですが、3種類のインフルエンザウイルスの検出が続いています。コンゴ民主共和国では、3月末にインフルエンザの活動性がピークに達し、インフルエンザA(H3N2)とインフルエンザB型が低い水準で減少していると報告されています。ケニアでは、低い水準ですが、インフルエンザA(H3N2)の伝播が続いています。マダガスカルでは、低い水準ですが、インフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザB型の伝播が増加したと報告されています。

・ アジアの熱帯地域

南アジアのインフルエンザの伝播は、過去数週間に比べて低い水準で、3種類のインフルエンザウイルスが同時に伝播しています。インドでは、インフルエンザの伝播は3月下旬にピークに達したようで、主にインフルエンザA(H1N1)pdm09が検出されており、インフルエンザA(H3N2)も若干検出されています。スリランカのインフルエンザの活動性のタイミングも同様でしたが、インフルエンザB型の検出割合が高いです。両国ともに、過去12か月間、毎週インフルエンザウイルスが検出されました。

中国南部のインフルエンザの伝播は3月中旬にピークに達し、検出されたウイルスは、インフルエンザA(H1N1)pdm09がほとんどでした。香港もインフルエンザの活動性は同時期にピークに達したようであり、主にA(H1N1)pdm09が検出されましたが、インフルエンザA(H3N2)も少数検出されました。上海市でインフルエンザA(H7N9)が発生した後、全体的なインフルエンザの活動性は増加していません。

【南半球の温帯地域】

南半球の温帯地域のすべての国で、現在、インフルエンザの活動性は、シーズンオフの水準で、活動性の増加が報告された国はありません。

[中国でインフルエンザA\(H7N9 \)の患者が発生しました\(更新23 \)](#)

2013年5月2日 WHO(GAR)

5月2日付で公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、中国の国家衛生・計画出産委員会は同日、鳥インフルエンザA(H7N9)に感染した患者が新たに2人発生したとWHOに報告しました。

患者は、4月21日に発症した福建省の58歳の男性と、4月23日に発症した湖南省の69歳の男性です。

また、以前に報告された患者2人が死亡しました。

これまでに、鳥インフルエンザA(H7N9)に感染したと確定された患者は128人で、このうち26人が死亡したとWHOに報告されました。確定患者の濃厚接触者は経過観察されています。

患者が発生した地域の当局は、この疾患の予防と感染拡大防止対策を続けています。

感染源やウイルスの保有宿主についての調査が進められています。感染源が確認されるまでは、今後もこのウイルスに感染した患者が発生すると予想されます。

現時点では、人から人に感染が続いているという根拠はありません。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

新種のコロナウイルス感染症について(更新8)

2013年5月2日 WHO(GAR)

5月2日付で公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、サウジアラビア保健省は、新種のコロナウイルス(nCoV)に感染した確定患者7人が新たに発生したとWHOに報告しました。このうち5人が死亡しました。

2人の患者が現在危篤状態です。

政府は、このアウトブレイクの調査を継続しています。

昨年9月以降、これまでに、WHOに報告されたnCoVの確定患者は24人で、このうち16人が死亡しました。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染症の監視を継続し、通常でないパターンの症例を慎重に検討するよう推奨しています。現在、WHOは状況を評価し、サーベイランスやモニタリングの推奨を再検討するために、専門家や患者が発生した国と連携しています。

WHOは、すべての加盟国に対し、nCoVの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染経路や臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

WHOは引き続き、状況を注視しています。

新種のコロナウイルス感染症について(更新9)

2013年5月3日 WHO(GAR)

5月3日付で公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、サウジアラビア保健省は、新種のコロナウイルス(nCoV)に感染した確定患者3名が新たに発生したとWHOに報告しました。

この3人は、5月2日付で公表された患者と同じ地域で発生しており、現在危篤状態です。

暫定的な情報によりますと、少なくとも2人の確定患者が同一家族内で発生しています。

昨年9月以降、これまでに、WHOに報告されたnCoVの確定患者は27人で、このうち16人が死亡しました。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染症の監視を継続し、通常でないパターンの症例を慎重に検討するよう推奨しています。現在、WHOは状況を評価し、サーベイランスやモニタリングの推奨を再検討するために、専門家や患者が発生した国と連携しています。

WHOは、すべての加盟国に対し、nCoVの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染経路や臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

WHOは引き続き、状況を注視しています。



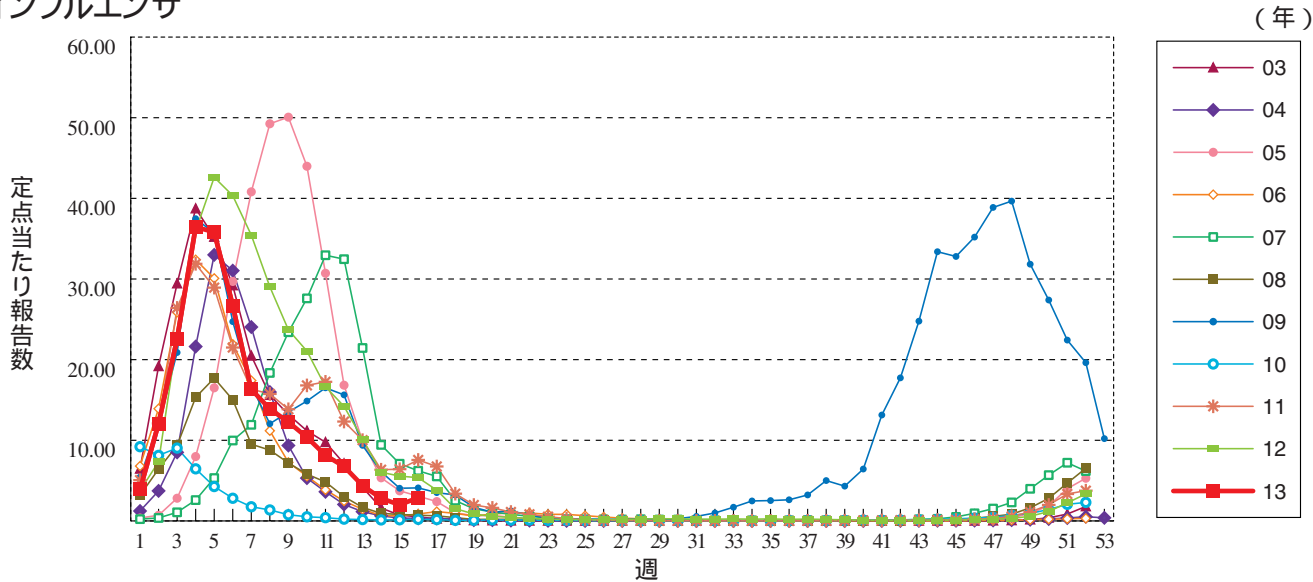
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia.html>
でご覧いただけます。

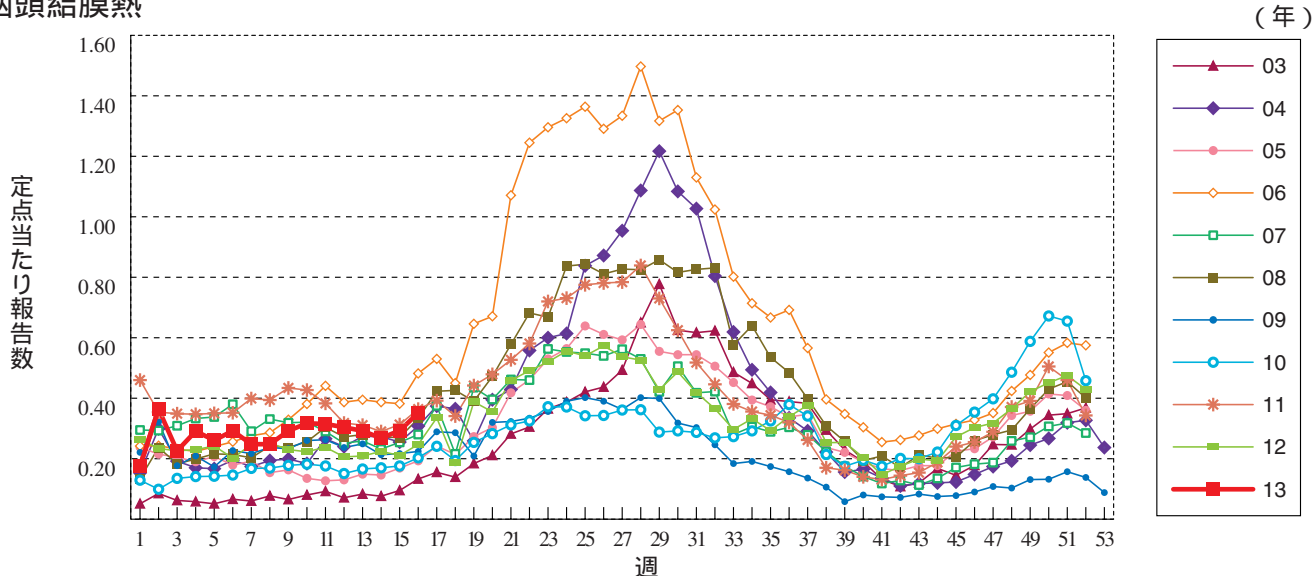


グラフ総覧(16週)

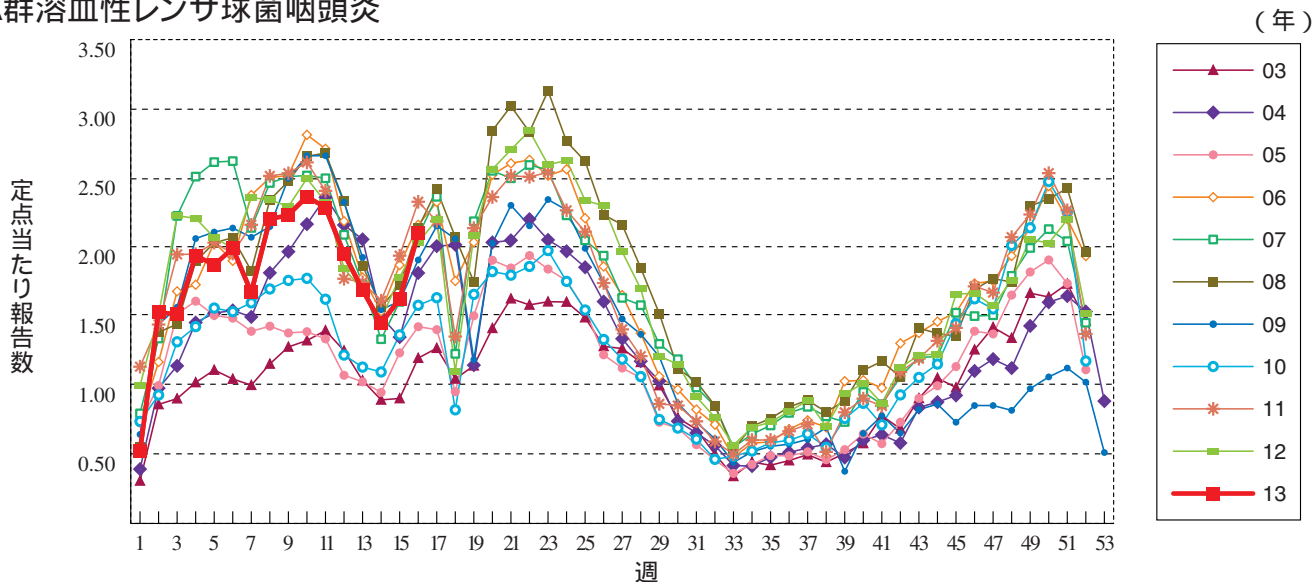
インフルエンザ



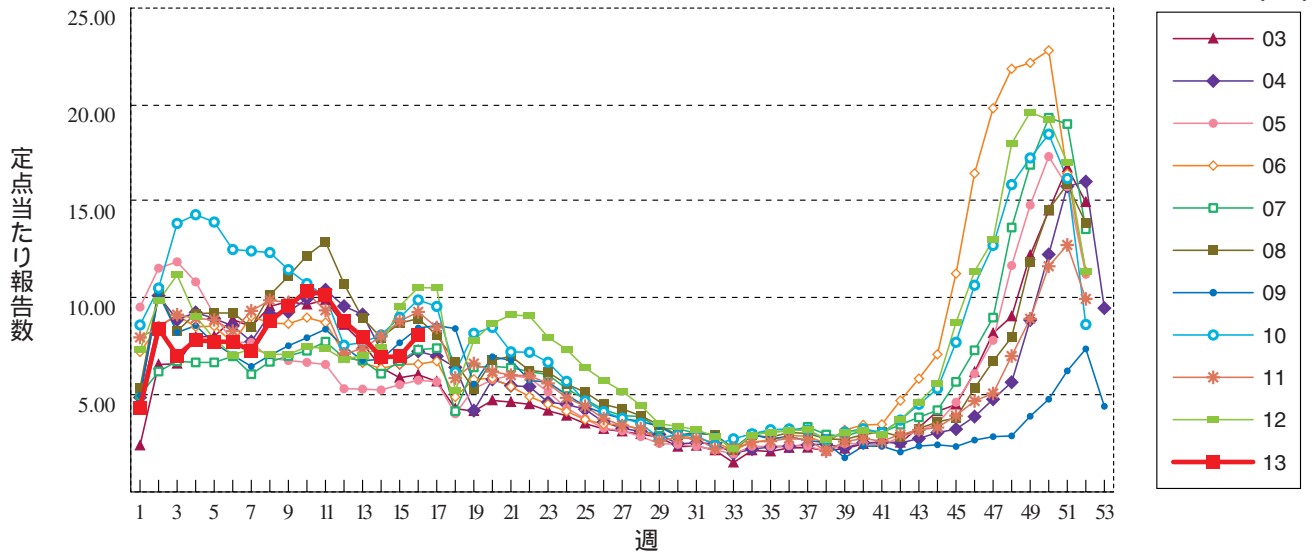
咽頭結膜熱



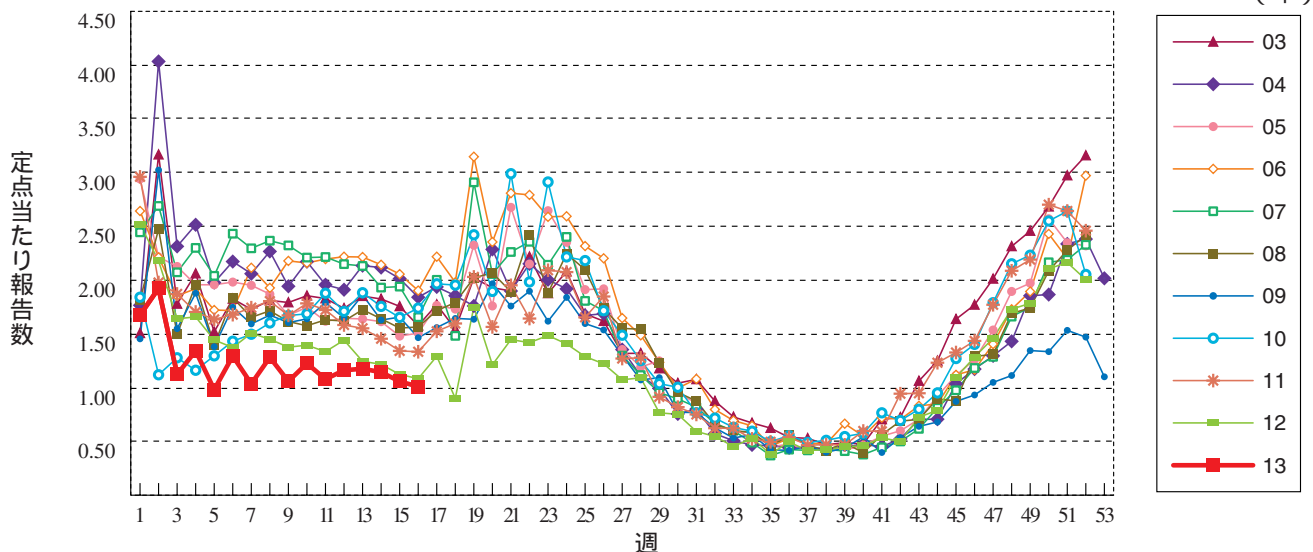
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



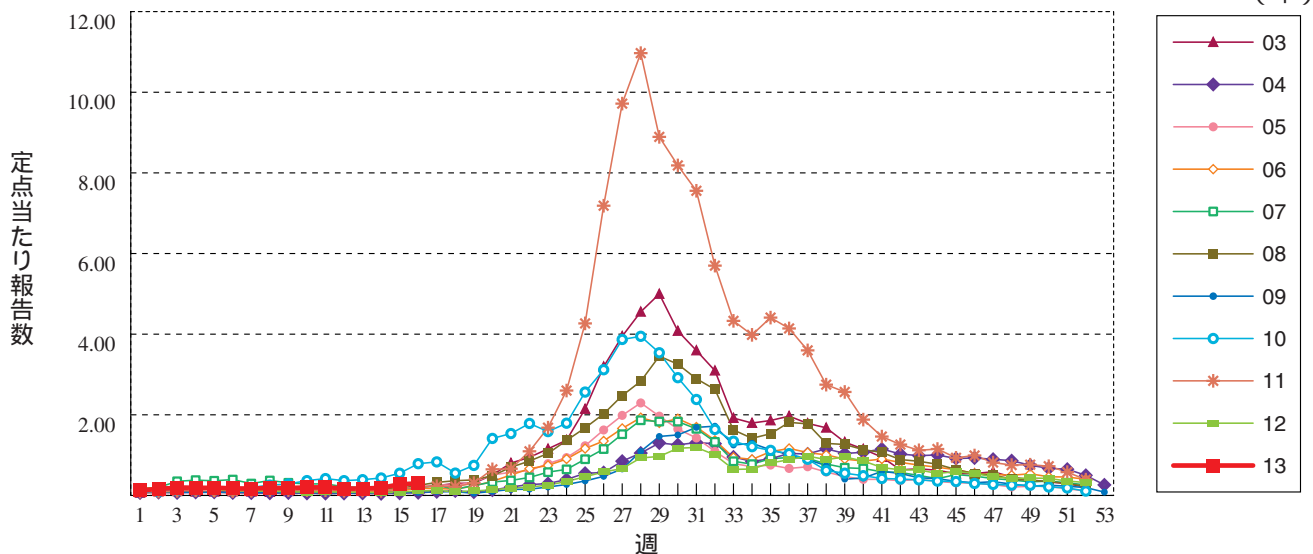
感染性胃腸炎



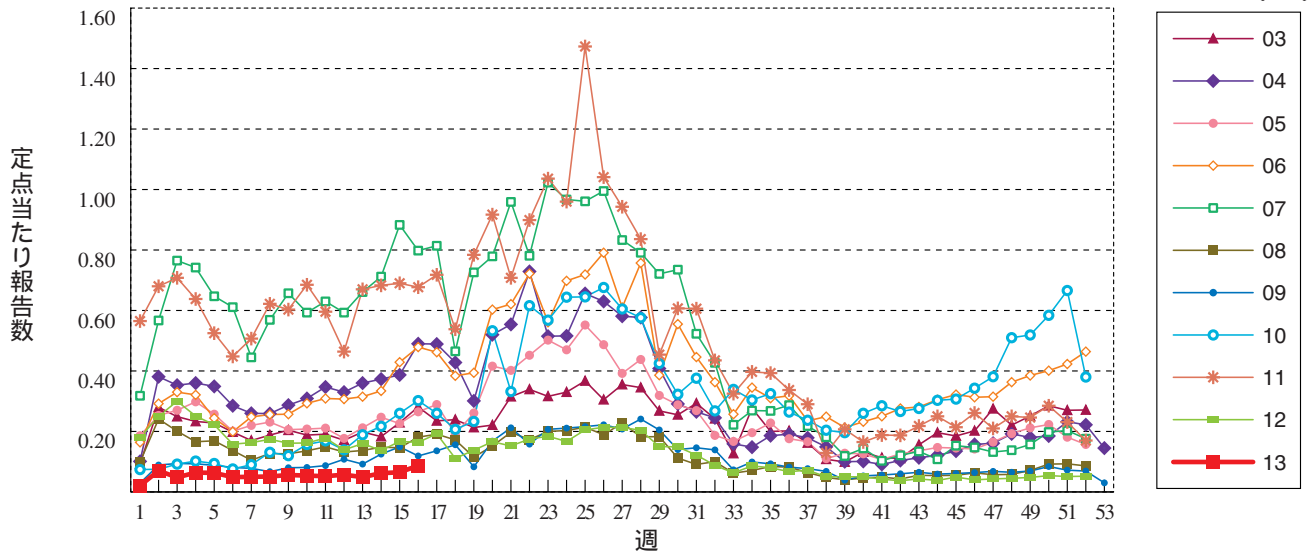
水痘



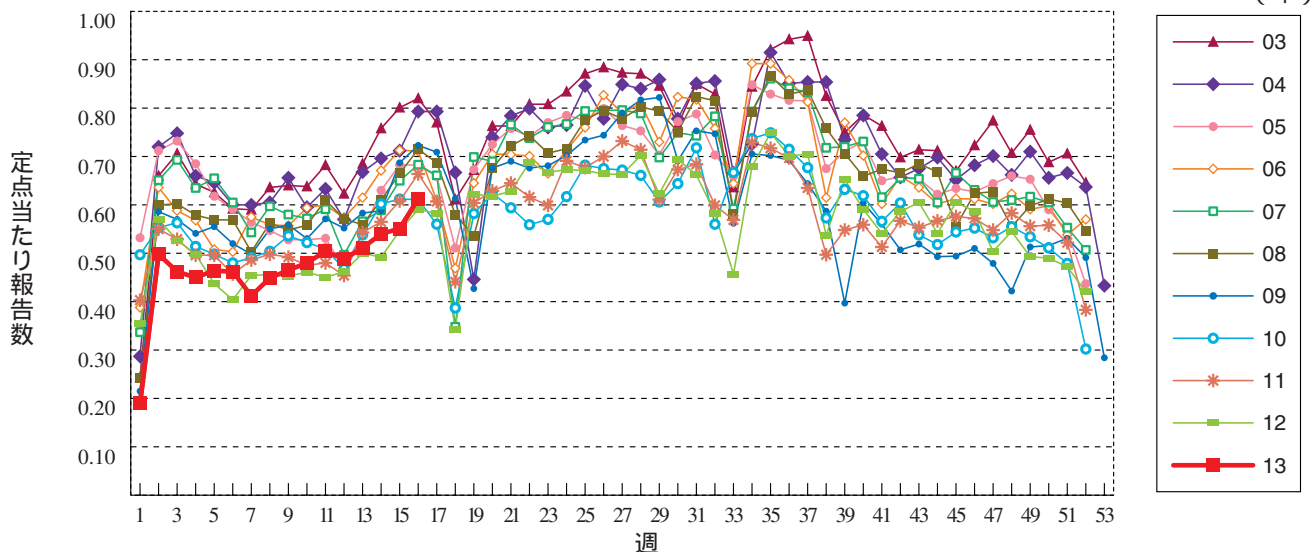
手足口病



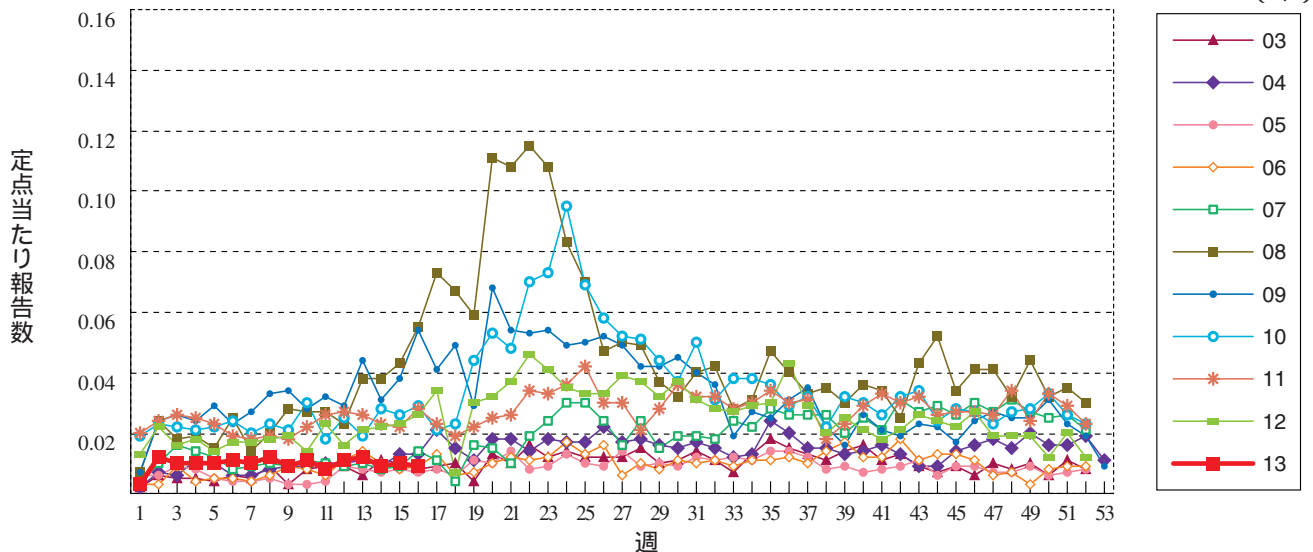
伝染性紅斑



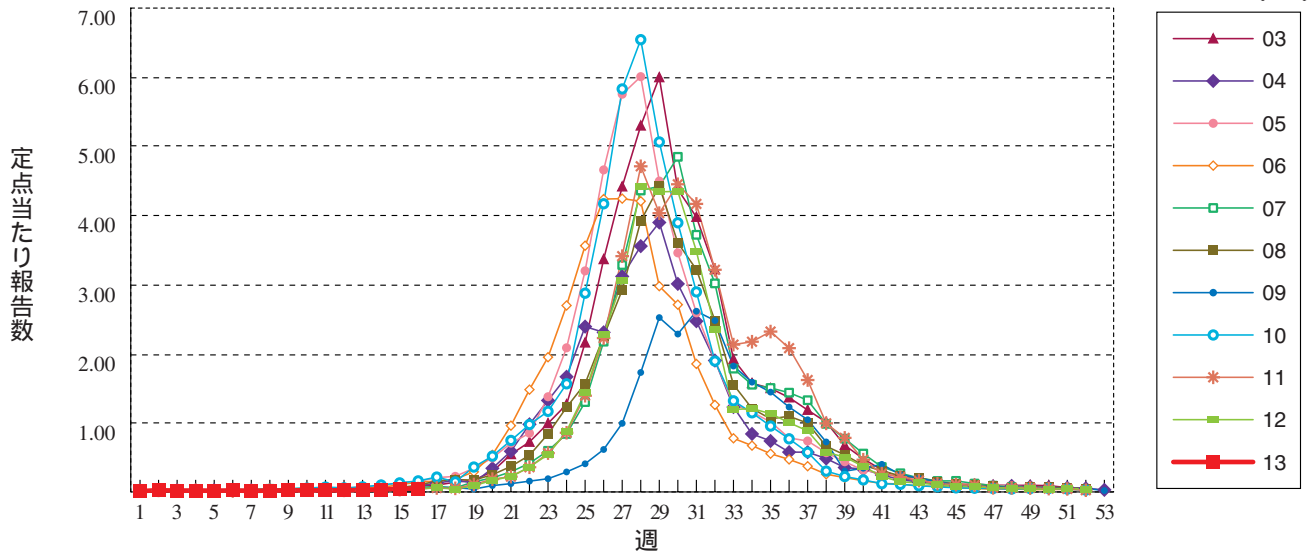
突発性発しん



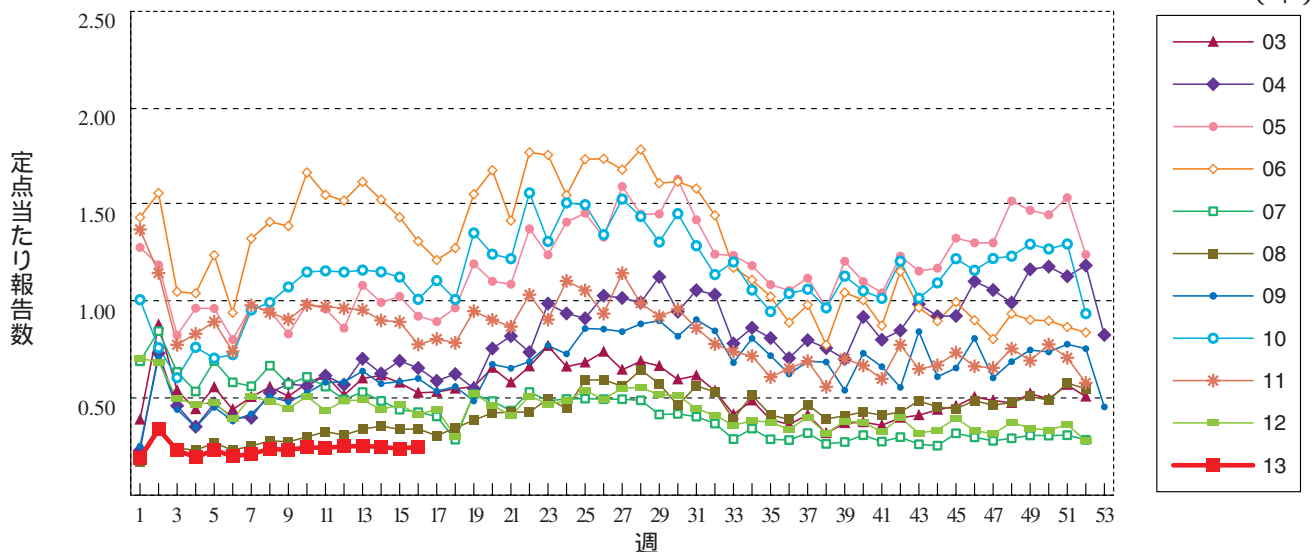
百日咳



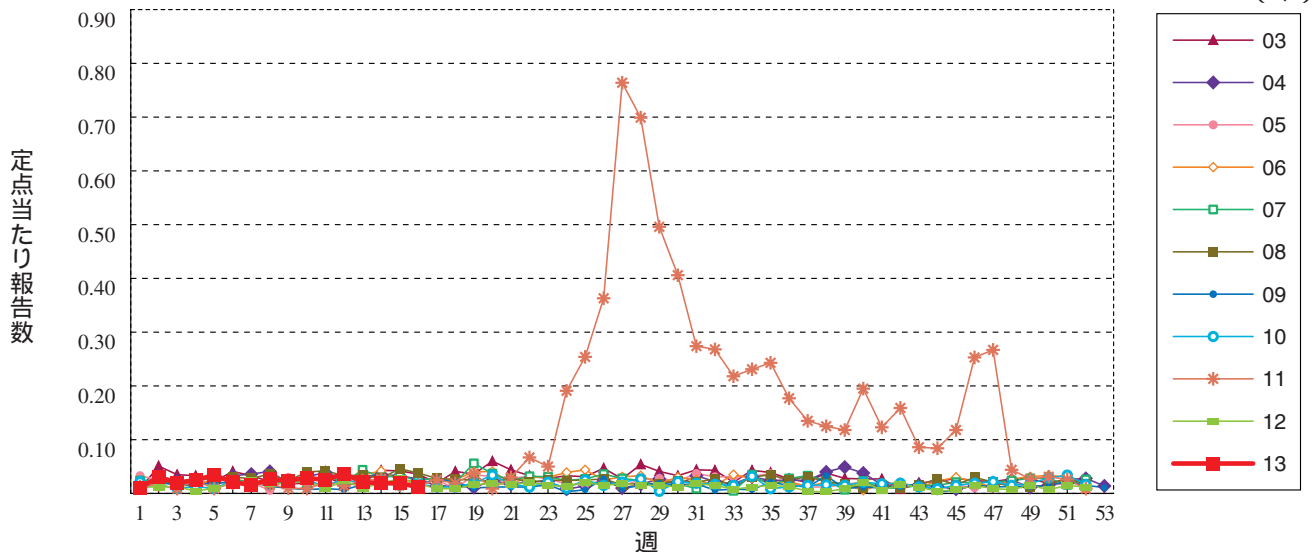
ヘルパンギーナ



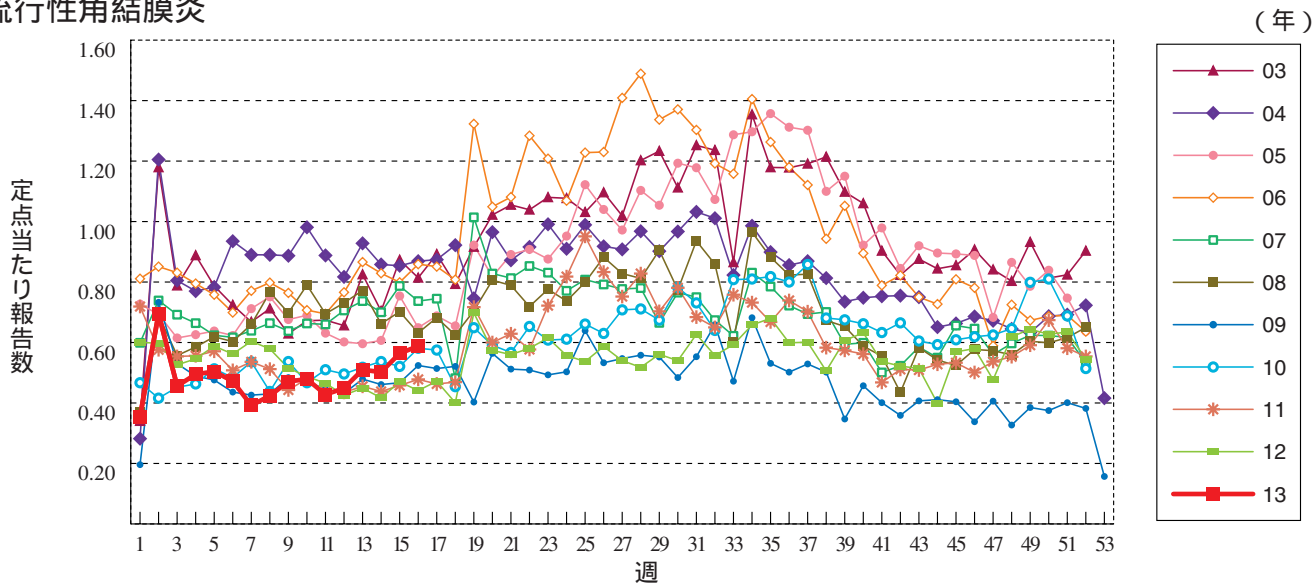
流行性耳下腺炎



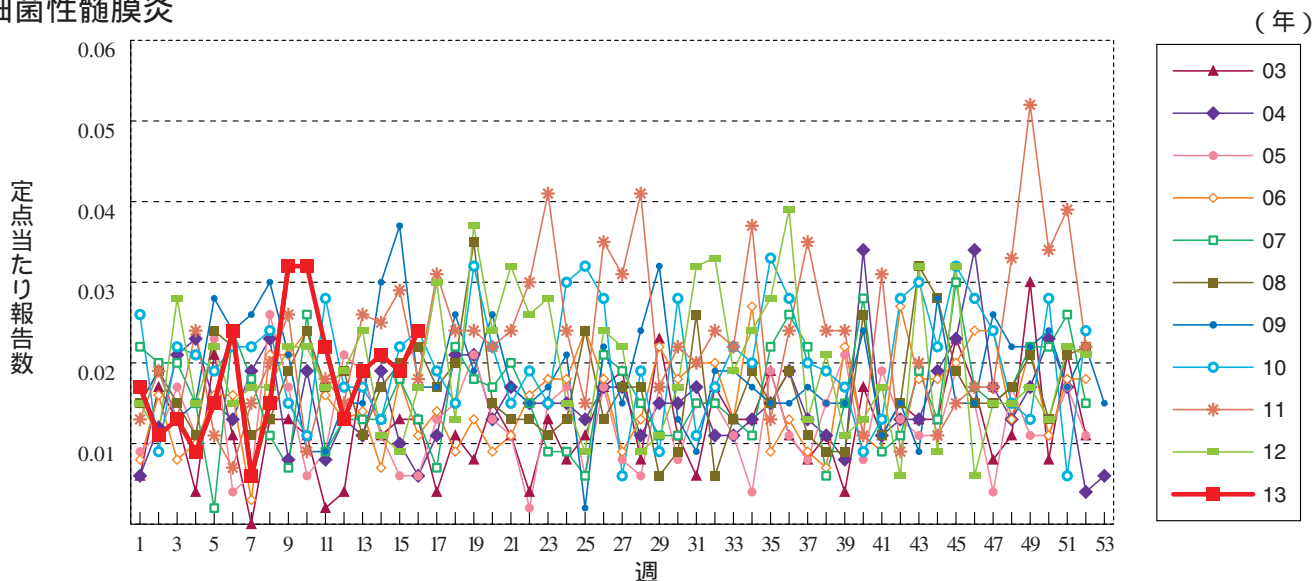
急性出血性結膜炎



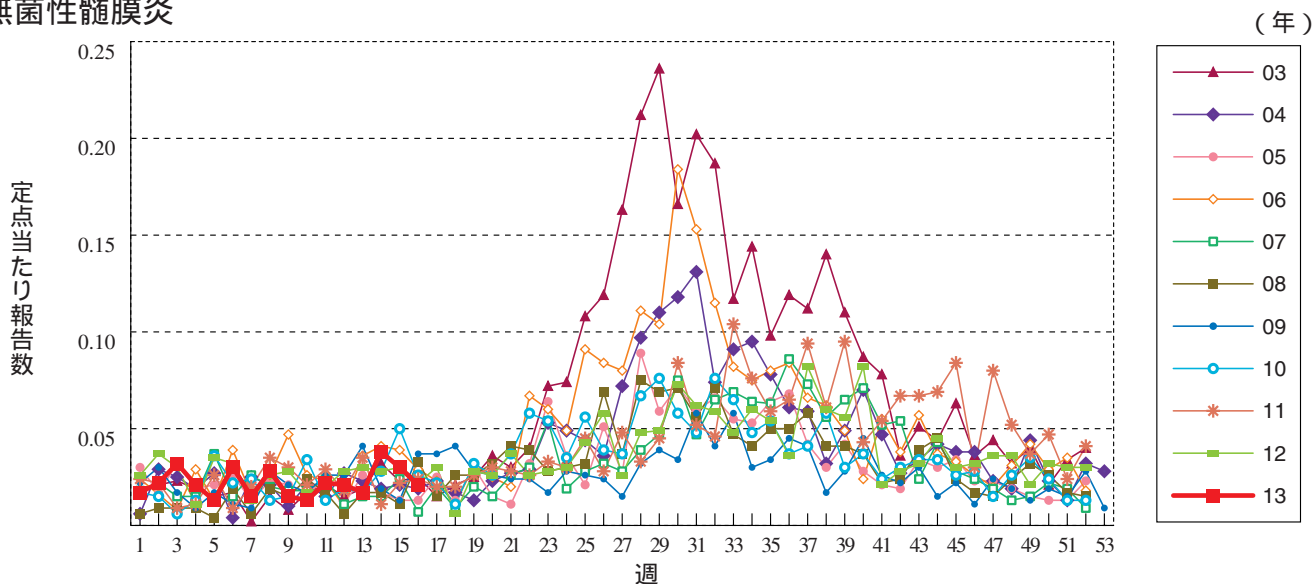
流行性角結膜炎



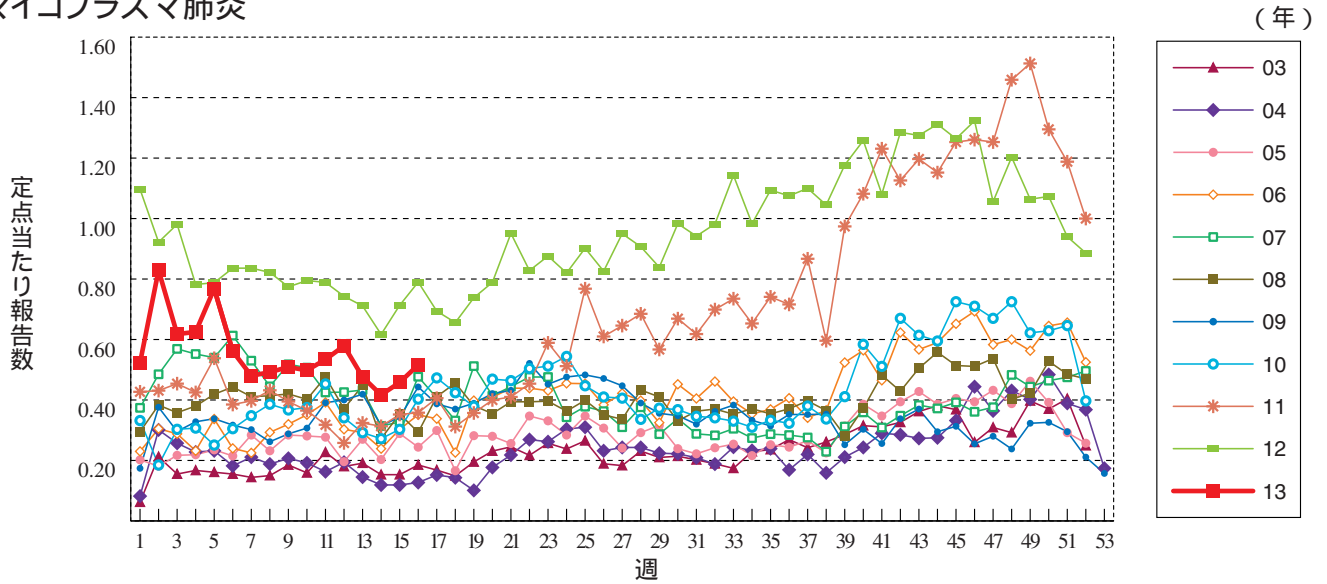
細菌性髄膜炎



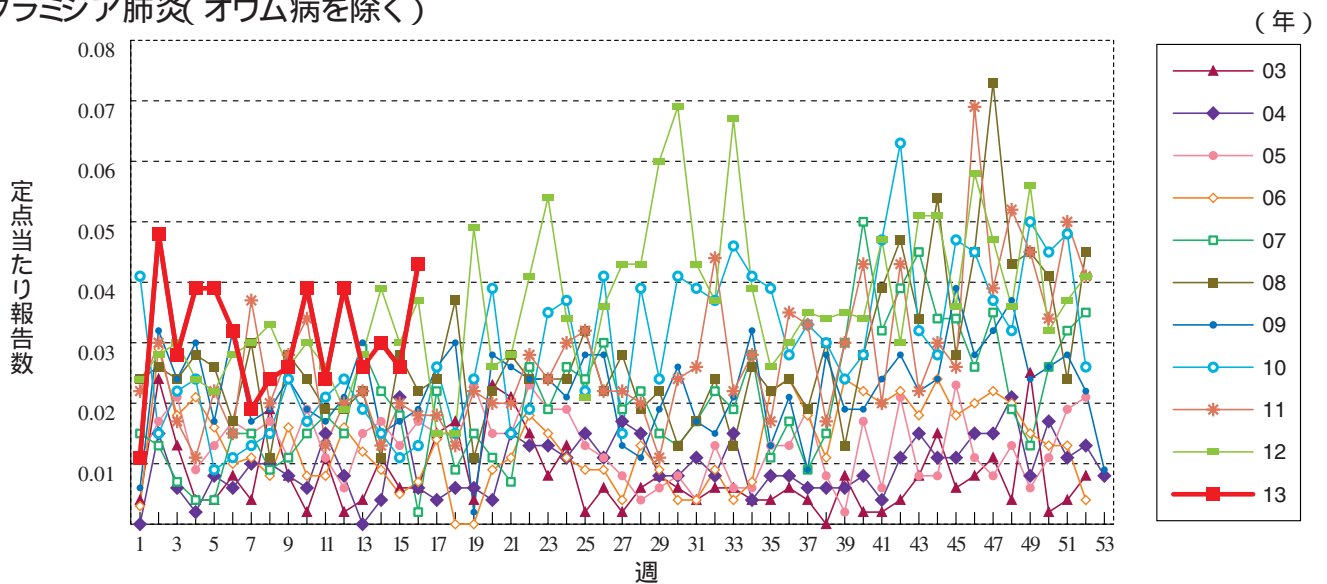
無菌性髄膜炎



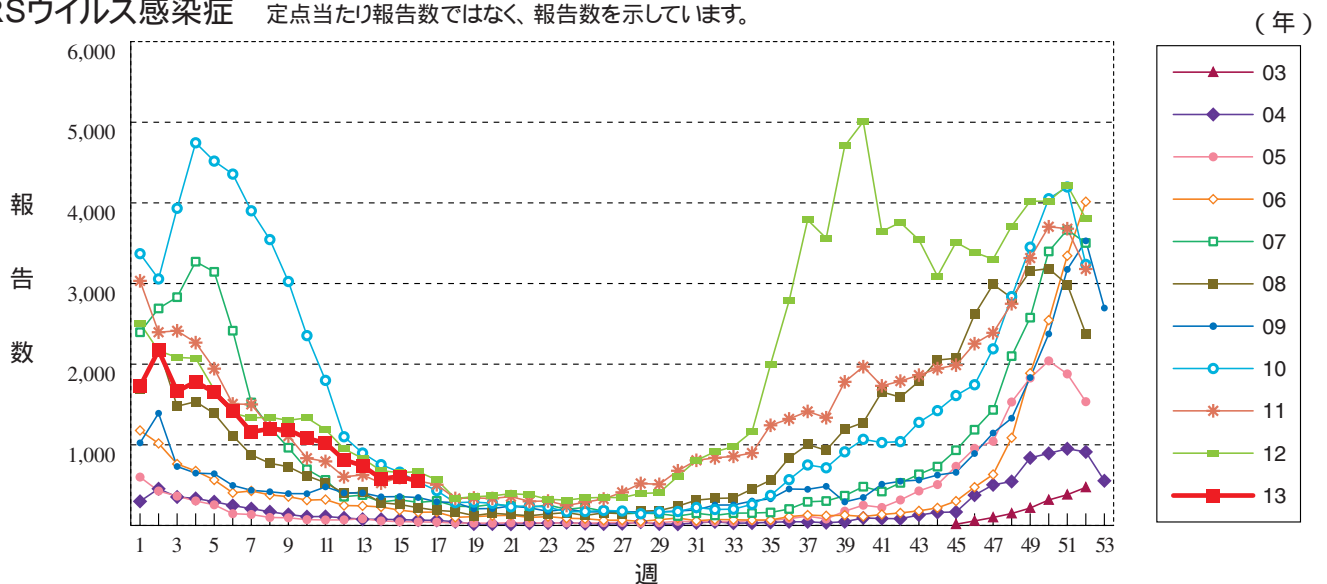
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





16週のデータ

注) 表中の報告数は4月24日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年16週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	354	7273
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	199
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	99
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	92
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	43
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	92
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	91
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	136
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	95
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	68
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	355
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	346
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	1113
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	474
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	104
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	54
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	44
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	48
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	33
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	93
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	117
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	183
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	493
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	91
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	89
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	164
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	528
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	304
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	64
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	106
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	32
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	82
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	166
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	63
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	60
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	54
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	45
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	319
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	51
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	99
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	73
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	89
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	77
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	70
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	146

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年16週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	2	38	15	208	2	21	3	21	5	47
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	10
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	1	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	1	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	1	1	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-	-	1	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	2	-	1	1	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	1	19	1	10	2	8	1	15
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	9	-	1	1	2	1	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	1	-	3
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	1	9	-	1	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	1	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	12	-	3	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	17	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	10	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年16週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	2	52	-	6	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	1
北海道	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
神奈川県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*2013年3月4日より届出対象疾患となりました。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年16週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		重症熱性血小板 減少症候群*		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総数	-	-	-	2	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

2013年16週

	つつかが虫病		デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	36	4	47	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	3	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年16週

	鼻 疽		ブルセラ症		ペネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年16週

	リッサウイルス感染症		リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	2	5	204	1	2	-	-	10	287	2	67	2	138
北海道	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	3	-	-	-	7
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	1	6	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	4	-	-	-	13
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	10
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	7	-	1	-	12
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	21	-	1	1	9
東京都	-	-	-	-	-	1	-	18	-	-	-	-	2	60	1	20	-	18
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	34	-	8	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	6	-	-	-	7
富山県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	8	-	2	1	3
岐阜県	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	1	9	-	2	-	3
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	19	-	2	-	11
三重県	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	4	-	4	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	2	25	-	8	-	13
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	15	1	5	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	3	-	3	-	2
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	1	15	-	2	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	2	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	5	-	1	-	4
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-	-	1	-	2	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1

*2013年4月1日より届出対象疾患となりました。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年16週

	クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		侵襲性インフルエンザ菌感染症*		侵襲性髄膜炎菌感染症*		侵襲性肺炎球菌感染症*		先天性風しん症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	2	44	-	63	25	405	2	19	1	5	-	2	18	70	2	5
北海道	-	-	-	-	-	1	-	9	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	2	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	1	1	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
埼玉県	-	-	-	1	-	1	-	13	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	4	-	16	-	1	-	-	-	-	2	5	-	-
東京都	-	-	-	4	-	8	7	121	-	6	-	2	-	2	-	5	-	1
神奈川県	-	-	1	4	-	5	5	31	-	-	1	1	-	-	5	14	1	1
新潟県	-	-	-	-	-	3	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	3	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	1	2	-	-
岐阜県	-	-	-	2	-	1	-	5	1	1	-	-	-	-	2	3	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	1	1	17	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	5	-	4	-	22	-	-	-	-	-	-	-	5	1	2
三重県	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	1	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
京都府	-	-	-	1	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	3	-	2	4	48	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1
兵庫県	-	-	-	2	-	7	2	15	-	2	-	-	-	-	1	3	-	-
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	3	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	1	-	13	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	2	-	3	1	14	-	2	-	1	-	-	1	7	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*髄膜炎菌性髄膜炎は2013年3月31日をもって届出対象疾患から外れ、以後は侵襲性髄膜炎菌感染症に含まれることになります。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年16週

	梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		風しん		麻しん		髄膜炎菌性 髄膜炎*	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	10	291	2	24	-	-	-	24	534	4763	8	107	-	2
北海道	-	10	-	1	-	-	-	1	1	36	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	13	-	1	-	-	-	-	7	23	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
福島県	-	6	-	1	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-
茨城県	-	4	-	-	-	-	-	1	4	55	-	-	-	-
栃木県	-	2	1	1	-	-	-	-	1	23	1	1	-	-
群馬県	1	3	-	3	-	-	-	-	2	22	-	-	-	-
埼玉県	1	8	-	-	-	-	-	4	18	283	3	15	-	-
千葉県	1	12	-	-	-	-	-	-	40	338	1	11	-	-
東京都	6	104	-	3	-	-	-	4	125	1661	-	32	-	-
神奈川県	-	13	-	1	-	-	-	1	71	659	3	20	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	19	-	1	-	-
富山県	-	3	-	-	-	-	-	-	3	10	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-
福井県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	8	-	1	-	-
長野県	-	4	-	2	-	-	-	-	4	26	-	-	-	-
岐阜県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-
静岡県	-	4	-	-	-	-	-	-	2	65	-	-	-	-
愛知県	-	11	-	-	-	-	-	5	8	95	-	5	-	-
三重県	-	3	-	-	-	-	-	-	3	27	-	4	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	5	23	-	-	-	-
京都府	-	1	-	1	-	-	-	-	3	35	-	1	-	-
大阪府	-	35	1	2	-	-	-	4	127	626	-	11	-	1
兵庫県	-	10	-	1	-	-	-	-	59	348	-	2	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-
和歌山県	-	1	-	-	-	-	-	-	5	13	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	4	8	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	13	-	-	-	-
広島県	-	1	-	1	-	-	-	-	2	31	-	-	-	-
山口県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-
香川県	-	6	-	-	-	-	-	-	2	8	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	13	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	12	-	1	-	-	-	2	9	53	-	1	-	-
佐賀県	-	1	-	1	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
長崎県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
熊本県	-	3	-	-	-	-	-	1	4	37	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	1	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-
鹿児島県	-	5	-	2	-	-	-	-	14	123	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2013年16週

	インフルエンザ*		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	報告数	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	14199	2.89	549	1106	0.35	6616	2.10	25524	8.10	3184	1.01	947	0.30	273	0.09	1929	0.61	
北海道	677	2.98	34	80	0.56	510	3.57	703	4.92	131	0.92	10	0.07	3	0.02	56	0.39	
青森県	126	1.97	6	5	0.12	63	1.54	233	5.68	15	0.37	1	0.02	1	0.02	17	0.41	
岩手県	205	3.25	3	7	0.18	82	2.05	292	7.30	30	0.75	-	-	15	0.38	19	0.48	
宮城県	189	2.03	6	15	0.26	141	2.43	484	8.34	47	0.81	1	0.02	14	0.24	34	0.59	
秋田県	236	4.29	3	7	0.20	40	1.14	306	8.74	19	0.54	-	-	3	0.09	12	0.34	
山形県	238	4.96	3	23	0.77	103	3.43	328	10.93	26	0.87	8	0.27	5	0.17	18	0.60	
福島県	150	1.97	7	10	0.22	117	2.60	305	6.78	60	1.33	2	0.04	6	0.13	27	0.60	
茨城県	72	0.60	6	20	0.27	145	1.93	532	7.09	89	1.19	6	0.08	1	0.01	29	0.39	
栃木県	44	0.58	1	4	0.08	81	1.69	280	5.83	38	0.79	5	0.10	1	0.02	36	0.75	
群馬県	118	1.20	-	8	0.13	102	1.70	593	9.88	34	0.57	3	0.05	2	0.03	21	0.35	
埼玉県	240	0.98	23	56	0.35	457	2.86	1328	8.30	142	0.89	34	0.21	19	0.12	134	0.84	
千葉県	218	1.06	10	55	0.42	377	2.86	1024	7.76	124	0.94	5	0.04	8	0.06	75	0.57	
東京都	391	0.95	36	92	0.35	781	3.00	2173	8.36	176	0.68	33	0.13	47	0.18	192	0.74	
神奈川県	366	1.13	14	54	0.26	417	2.02	1437	6.98	171	0.83	9	0.04	19	0.09	139	0.67	
新潟県	240	2.53	10	13	0.22	240	4.00	820	13.67	49	0.82	43	0.72	28	0.47	46	0.77	
富山県	264	5.50	3	14	0.48	123	4.24	267	9.21	37	1.28	5	0.17	29	1.00	7	0.24	
石川県	364	7.58	4	16	0.55	148	5.10	273	9.41	34	1.17	8	0.28	1	0.03	16	0.55	
福井県	127	3.97	2	8	0.36	81	3.68	277	12.59	36	1.64	-	-	-	-	9	0.41	
山梨県	236	5.90	1	3	0.13	45	1.88	168	7.00	16	0.67	1	0.04	1	0.04	8	0.33	
長野県	285	3.28	3	5	0.09	147	2.72	565	10.46	54	1.00	-	-	1	0.02	29	0.54	
岐阜県	513	5.90	1	11	0.21	37	0.70	284	5.36	37	0.70	3	0.06	-	-	31	0.58	
静岡県	523	3.76	17	46	0.52	138	1.55	590	6.63	90	1.01	26	0.29	8	0.09	54	0.61	
愛知県	731	3.75	21	40	0.22	182	1.01	1060	5.86	111	0.61	15	0.08	9	0.05	83	0.46	
三重県	358	4.97	6	18	0.40	51	1.13	485	10.78	30	0.67	10	0.22	4	0.09	21	0.47	
滋賀県	144	2.72	1	10	0.31	74	2.31	271	8.47	18	0.56	7	0.22	1	0.03	15	0.47	
京都府	326	2.69	5	3	0.04	105	1.42	379	5.12	58	0.78	1	0.01	1	0.01	34	0.46	
大阪府	927	3.01	55	69	0.35	411	2.06	1784	8.92	179	0.90	60	0.30	7	0.04	127	0.64	
兵庫県	534	2.67	7	58	0.45	132	1.02	1303	10.10	123	0.95	8	0.06	7	0.05	76	0.59	
奈良県	116	2.11	5	17	0.49	27	0.77	255	7.29	17	0.49	10	0.29	-	-	12	0.34	
和歌山県	102	2.04	2	3	0.10	19	0.61	131	4.23	21	0.68	1	0.03	2	0.06	17	0.55	
鳥取県	112	3.86	3	4	0.21	75	3.95	166	8.74	27	1.42	9	0.47	2	0.11	14	0.74	
島根県	173	4.55	7	1	0.04	20	0.87	322	14.00	33	1.43	83	3.61	2	0.09	18	0.78	
岡山県	182	2.17	6	10	0.19	47	0.87	618	11.44	47	0.87	2	0.04	3	0.06	17	0.31	
広島県	333	2.90	24	46	0.64	114	1.58	650	9.03	56	0.78	36	0.50	-	-	44	0.61	
山口県	485	7.13	14	10	0.21	126	2.68	384	8.17	97	2.06	3	0.06	2	0.04	41	0.87	
徳島県	74	1.95	2	2	0.09	27	1.17	166	7.22	16	0.70	-	-	-	-	13	0.57	
香川県	85	1.73	1	8	0.27	58	1.93	186	6.20	36	1.20	2	0.07	2	0.07	16	0.53	
愛媛県	121	1.98	20	8	0.22	72	1.95	365	9.86	85	2.30	6	0.16	2	0.05	31	0.84	
高知県	87	1.81	2	3	0.10	14	0.47	192	6.40	34	1.13	-	-	2	0.07	13	0.43	
福岡県	860	4.34	56	84	0.70	244	2.03	1208	10.07	242	2.02	260	2.17	3	0.03	100	0.83	
佐賀県	273	7.00	13	19	0.83	31	1.35	162	7.04	39	1.70	15	0.65	-	-	34	1.48	
長崎県	478	6.83	4	11	0.25	61	1.39	203	4.61	49	1.11	23	0.52	2	0.05	27	0.61	
熊本県	475	5.94	5	19	0.38	95	1.90	431	8.62	118	2.36	19	0.38	3	0.06	45	0.90	
大分県	256	4.41	3	25	0.69	59	1.64	620	17.22	56	1.56	9	0.25	2	0.06	39	1.08	
宮崎県	451	7.64	18	45	1.25	95	2.64	417	11.58	74	2.06	1	0.03	-	-	44	1.22	
鹿児島県	418	4.49	34	35	0.64	81	1.47	417	7.58	103	1.87	6	0.11	-	-	33	0.60	
沖縄県	276	4.76	42	6	0.18	21	0.62	87	2.56	60	1.76	158	4.65	5	0.15	6	0.18	

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2013年16週

	百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	27	0.01	143	0.05	792	0.25	8	0.01	400	0.59	11	0.02	10	0.02	241	0.52	20	0.04
北海道	1	0.01	1	0.01	11	0.08	-	-	5	0.17	-	-	-	-	2	0.09	1	0.04
青森県	-	-	1	0.02	5	0.12	-	-	7	0.64	-	-	-	-	5	0.83	-	-
岩手県	-	-	-	-	40	1.00	-	-	4	0.29	-	-	1	0.05	16	0.84	-	-
宮城県	-	-	1	0.02	18	0.31	-	-	3	0.25	-	-	1	0.08	19	1.58	-	-
秋田県	-	-	-	-	42	1.20	-	-	5	0.71	-	-	-	-	2	0.25	-	-
山形県	-	-	-	-	19	0.63	-	-	1	0.13	-	-	-	-	7	0.70	-	-
福島県	2	0.04	-	-	18	0.40	-	-	13	1.08	-	-	-	-	14	2.00	2	0.29
茨城県	-	-	-	-	11	0.15	-	-	28	1.65	4	0.31	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.02	-	-	13	0.27	-	-	9	0.75	-	-	-	-	3	0.43	3	0.43
群馬県	-	-	1	0.02	22	0.37	-	-	9	0.64	-	-	-	-	7	0.88	-	-
埼玉県	-	-	6	0.04	44	0.28	-	-	22	0.52	-	-	1	0.10	10	1.00	1	0.10
千葉県	-	-	6	0.05	30	0.23	1	0.03	22	0.65	-	-	1	0.11	2	0.22	1	0.11
東京都	-	-	7	0.03	38	0.15	-	-	20	0.51	2	0.08	1	0.04	14	0.58	-	-
神奈川県	1	0.00	5	0.02	67	0.33	-	-	54	1.32	-	-	1	0.11	2	0.22	-	-
新潟県	1	0.02	1	0.02	4	0.07	1	0.10	8	0.80	-	-	-	-	2	0.15	1	0.08
富山県	-	-	2	0.07	3	0.10	-	-	2	0.29	-	-	-	-	4	0.80	-	-
石川県	-	-	-	-	6	0.21	-	-	1	0.14	-	-	-	-	12	2.40	-	-
福井県	-	-	4	0.18	23	1.05	-	-	1	0.33	1	0.17	-	-	1	0.17	-	-
山梨県	-	-	1	0.04	2	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.30	1	0.10
長野県	-	-	-	-	3	0.06	-	-	2	0.20	-	-	-	-	10	0.91	-	-
岐阜県	1	0.02	1	0.02	18	0.34	-	-	2	0.18	-	-	-	-	4	0.80	-	-
静岡県	-	-	1	0.01	16	0.18	-	-	16	0.73	-	-	1	0.10	5	0.50	5	0.50
愛知県	1	0.01	3	0.02	47	0.26	-	-	4	0.12	-	-	-	-	19	1.46	-	-
三重県	-	-	-	-	8	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	4	0.13	3	0.09	-	-	2	0.25	-	-	-	-	5	0.71	-	-
京都府	-	-	5	0.07	17	0.23	-	-	5	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	4	0.02	6	0.03	36	0.18	-	-	15	0.29	-	-	-	-	1	0.06	1	0.06
兵庫県	2	0.02	-	-	11	0.09	-	-	17	0.49	-	-	-	-	9	0.82	-	-
奈良県	-	-	-	-	3	0.09	-	-	4	0.44	1	0.17	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	1	0.03	6	0.19	2	0.50	2	0.50	-	-	2	0.18	4	0.36	-	-
鳥取県	1	0.05	-	-	2	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	4	0.17	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.13	-	-
岡山県	1	0.02	8	0.15	4	0.07	-	-	4	0.33	-	-	-	-	5	1.00	3	0.60
広島県	1	0.01	2	0.03	24	0.33	-	-	15	0.79	-	-	-	-	4	0.19	-	-
山口県	1	0.02	5	0.11	4	0.09	-	-	3	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	2	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	1	0.03	8	0.27	-	-	3	1.00	1	0.20	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	8	0.22	-	-	16	2.00	-	-	-	-	3	0.50	-	-
高知県	3	0.10	-	-	4	0.13	-	-	1	0.33	1	0.13	-	-	8	1.00	1	0.13
福岡県	1	0.01	11	0.09	57	0.48	1	0.04	10	0.38	-	-	-	-	2	0.13	-	-
佐賀県	1	0.04	15	0.65	17	0.74	-	-	-	-	-	-	1	0.17	6	1.00	-	-
長崎県	1	0.02	20	0.45	17	0.39	2	0.25	7	0.88	-	-	-	-	2	0.17	-	-
熊本県	-	-	11	0.22	7	0.14	-	-	16	1.78	-	-	-	-	5	0.33	-	-
大分県	1	0.03	2	0.06	16	0.44	-	-	-	-	-	-	-	7	0.64	-	-	
宮崎県	-	-	1	0.03	13	0.36	-	-	18	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	2	0.04	14	0.25	-	-	14	2.00	1	0.08	-	-	3	0.25	-	-
沖縄県	2	0.06	8	0.24	7	0.21	1	0.10	9	0.90	-	-	-	-	13	1.86	-	-

報告数・疾病・都道府県別
 2013年16週

	インフルエンザ (入院患者)
	報告数
総 数	150
北海道	2
青森県	9
岩手県	9
宮城県	3
秋田県	10
山形県	12
福島県	2
茨城県	-
栃木県	2
群馬県	5
埼玉県	2
千葉県	-
東京都	-
神奈川県	1
新潟県	9
富山県	3
石川県	2
福井県	1
山梨県	-
長野県	2
岐阜県	2
静岡県	2
愛知県	18
三重県	2
滋賀県	5
京都府	1
大阪府	5
兵庫県	-
奈良県	1
和歌山県	1
鳥取県	2
島根県	3
岡山県	1
広島県	5
山口県	2
徳島県	-
香川県	-
愛媛県	2
高知県	-
福岡県	4
佐賀県	3
長崎県	-
熊本県	7
大分県	7
宮崎県	1
鹿児島県	2
沖縄県	-

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年16週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2013年16週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第15巻 第16号 2013年5月10日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症疫学センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>
 < 国立感染症研究所 感染症疫学センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症疫学センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。